

実務経験のある教員等による授業科目の授業計画書(シラバス)

静岡アールス美容専門学校					
教科名	ヘア・メイク・ネイル【実務経験のある教員等による授業科目】			年間授業時間数	120時間
到達目標	基本的なパーソナルメイクが出来るようになる。				
成績評価の方法・基準	検定及び、修了試験の合格をする				
	授業態度、修了試験合格、校定試験合格の結果等の内容を指標にし、学則に基づき成績評価を行う。 ・教科課程に従い、教科課目別試験の成績が、100点満点とする6段階の評価で行い、A～Eを合格とし、Fは不合格とし、合格した場合に評価する。				
授業の方法 講義・演習・実技					
実施時期	1学年	2学期に実施	2学年	実施しない	
授業の回数	授業の内容			プリント等	備考
1	メイクアップの効果				
2	技術者としての心得				
3	準備 片づけ				
4	メイクアップアイテム				
5	理想的な顔バランス				
6	パーツバランスと印象				
7	輪郭と印象				
8	ナチュラルメイクアップ				
9	肌の基礎知識 皮膚				
10	美しい肌とは				
11	肌トラブル				
12	加齢による皮膚の変化				
13	メイクアップ実践 メイクアップ前のスキンケア				
14	ベースメイク				
15	ベースメイク				
16	ベースメイク				
17	ベースメイク				
18	ベースメイク				
19	ベースメイク				
20	ベースメイク				
21	ベースメイク				
22	ベースメイク				
23	ベースメイク				
24	アイメイク				
25	アイメイク				
26	アイメイク				
27	アイメイク				
28	アイメイク				
29	アイメイク				
30	アイメイク				
31	アイメイク				
32	アイメイク				
33	アイメイク				
34	アイブロウ				
35	アイブロウ				
36	アイブロウ				
37	アイブロウ				
38	アイブロウ				
39	アイブロウ				
40	アイブロウ				
41	アイブロウ				
42	アイブロウ				
43	アイブロウ				
44	チーク				

実施時期	1学年	2学期に実施	2学年	実施しない
授業の回数	授業の内容			備考
45	チーク			
46	ハイライト			
47	ハイライト			
48	シェイディング			
49	シェイディング			
50	リップ			
51	リップ			
52	トータルバランス			
53	トータルバランス			
54	トータルバランス			
55	イメージメイクアップ			
56	Image Make-up Lesson			
57	Image Make-up Lesson			
58	Image Make-up Lesson			
59	Image Make-up Lesson			
60	Image Make-up Lesson			
61	ネイル概論			
62	皮膚科学			
63	解剖生理学			
64	爪の病気とトラブル			
65	消毒法			
66	マッサージ理論			
67	香粧品学			
68	プロフェッショナルリズム			
69	実技理論			
70	プレマニキュア			
71	プレマニキュア			
72	フアイル			
73	フアイル			
74	フアイル			
75	フアイル			
76	甘皮処理			
77	甘皮処理			
78	甘皮処理			
79	甘皮処理			
80	カラーリング			
81	カラーリング			
82	カラーリング			
83	カラーリング			
84	マッサージ			
85	マッサージ			
86	マッサージ			
87	フラットアート			
88	フラットアート			
89	フラットアート			
90	フラットアート			
91	ジェルネイルの基礎理論			
92	ジェルネイルの歴史			
93	ジェルネイルの特徴			
94	ジェルネイルの基材理論			
95	光と重合の基礎知識			
96	アクリルとの違いと注意点			
97	実技 ジェルカラーリング			
98	実技 ジェルカラーリング			
99	実技 ジェルカラーリング			
100	実技 ジェルカラーリング			
101	実技 ジェルカラーリング			
102	グラデーション			
103	グラデーション			
104	グラデーション			

実施時期	1学年	2学期に実施	2学年	実施しない
授業の回数	授業の内容		プリント等	備考
105	グラデーション			
106	グラデーション			
107	花のアート			
108	花のアート			
109	花のアート			
110	花のアート			
111	花のアート			
112	オフ			
113	オフ			
114	オフ			
115	イクステンション(5mm程度)			
116	イクステンション(5mm程度)			
117	イクステンション(5mm程度)			
118	イクステンション(5mm程度)			
119	イクステンション(5mm程度)			
120	イクステンション(5mm程度)			

実務経験のある教員等による授業科目の授業計画書(シラバス)

静岡アリス美容専門学校

教科名	パーソナルカラー・色彩学【実務経験のある教員等による授業科目】		授業時間数	30時間
到達目標	色彩学の楽しさを体験する。美容師としてお客様にお似合いのカラーリングの提案ができるようになる。 検定の合格をする。			
成績評価の方法・基準	プリント提出状況、授業態度、検定の合否等の内容を指標にし、学則に基づき成績評価を行う。・教科課程に従い、教科課目別試験の成績が、100点満点とする6段階の評価で行い、A～Eを合格とし、Fは不合格とし、合格した場合に評価する。 A 100～75点 B 74～63点 C 62～50点 D 49～43点 E 42～30点 F 29点以下			
授業の方法	講義			
実施時期	1学年	1.2学期に実施	2学年	実施しない
授業の回数	授業の内容			プリント等 備考
1	色のはたらき			
2	色はなぜ見えるのか？			
3	眼のしくみ			
4	照明と色の見え方			
5	混色			
6	色の分類と三属性			
7	PCCS 色相～等色相面			
8	PCCS 色立体～色相とトーンによる色の表示方法			
9	言葉による色表示			
10	色の心理的效果 暖色と寒色～軽い色と重い色			
11	興奮する色と沈静する色～色の連想と象徴			
12	色の視覚効果 負の残像～色対比			
13	同化効果～視覚効果のまとめと演習			
14	色の知覚的效果			
15	配色の基本的な考え方			
16	色相に共通性がある配色			
17	色相にやや違いがある配色			
18	色相に対照性がある配色			
19	トーンから配色を考える			
20	配色の基本的な技法			
21	配色演習の解答例と解説			
22	色彩と構成			
23	色彩と生活			
24	ファッショントとは			
25	ファッショントにおける色彩～色相を主体としたカラーコーディネート			
26	トーンを主体としたカラーコーディネート～色相とトーンを組み合わせさせたカラーコーディネート			
27	インテリアと色彩			
28	インテリアのカラーコーディネート～インテリアの配色			
29	インテリアにおける色の心理的效果～インテリアにおける色彩検査			
30	巻末 慣用色名～			

実務経験のある教員等による授業科目の授業計画書(シラバス)

静岡アリス美容専門学校

教科名	ビジネススマナー【実務経験のある教員等による授業科目】		授業時間数	30時間
到達目標	美容院等のサロンで働く職業人としての必要なマナー・常識の基礎を身につけることを目標とする 学内試験の合格をする			
成績評価の方法・基準	美容院等サロンにおける、立ち居振舞い、習得とロールプレイ演習、学内試験等の内容を指標にし、学則に基づき成績評価を行う。・教科課程に従い、教科課目別試験の成績が、100点満点とする6段階の評価で行い、A～Eを合格とし、Fは不合格とし、合格した場合に評価する。 A 100～75点 B 74～63点 C 62～50点 D 49～43点 E 42～30点 F 29点以下			
授業の方法	講義・演習			
実施時期	1学年	1学期に実施	2学年	実施しない
授業の回数	授業の内容		プリント等	備考
1	はじめに			
2	職場での基本モラル			
3	職場での身だしなみ			
4	職場での身だしなみ			
5	職場での人間関係			
6	職場での人間関係			
7	職場での人間関係			
8	正しい動作 あいさつ			
9	基本動作(立ち姿勢、歩き方、おじぎなど)			
10	基本動作(立ち姿勢、歩き方、おじぎなど)			
11	実践トレーニング			
12	言葉づかい 話し方、聞き方			
13	敬語			
14	人の呼び方			
15	実践トレーニング			
16	実践トレーニング			
17	接客の基礎 接遇			
18	接客対応			
19	接客対応			
20	接客対応			
21	実践トレーニング			
22	電話応対の基礎 電話の受け方			
23	電話応対の基礎 電話の受け方			
24	電話のかけ方			
25	実践トレーニング			
26	実践トレーニング			
27	名刺交換、紹介、訪問、座席の順番			
28	冠婚葬祭			
29	冠婚葬祭			
30	履歴書の書き方			

実務経験のある教員等による授業科目の授業計画書(シラバス)

静岡アールス美容専門学校

教科名	運営管理【実務経験のある教員等による授業科目】		授業時間数	30時間
到達目標	美容業の運営管理について、マーケティング、接客、経営管理、労務管理、健康管理、健康管理の各方面から考察し、基本的な内容を理解する。			
成績評価の方法・基準	試験等において、美容業の運営管理について、マーケティング、接客、経営管理、労務管理、健康管理の各方面の基本的な内容の理解等を指標にし、学則に基づき成績評価を行う。・教科課程に従い、科目課目別試験の成績が、100点満点とする6段階の評面で行い、A～Eを合格とし、Fは不合格とし、合格した場合に評価する。 A 100～75点 B 74～60点 C 62～50点 D 49～40点 E 42～30点 F 29点以下			
授業の方法	講義			
実施時期	1学年	1.2.3学期に実施	2学年	実施しない
授業の回数	授業の内容			プリント等 備考
1	接客	現場が求める人		
2		よい社会人であるために～お客様を考える		
3		お客様に接すること～接客とは何か		
4		よい接客を考える～よい接客者の基本的要素		
5		接客者の心構え～計画の必要性		
6		接客の環境づくり～接客の範囲		
7		接客の流れとポイント①②		
8		接客の流れとポイント③④		
9		接客にかかわるトラブル・事故～接客で発生が予想される問題①		
10		接客で発生が予想される問題②～問題への対処		
11		お客様に選んでもらうということ		
12		お客様に選ばれることはどれほど難しいか		
13		よい店はどんな店か		
14		経営戦略の基礎①		
15		経営戦略の基礎②		
16		経営者としての感覚を養う		
17		競争の現状		
18		「世の中」についての知識		
19		マーケティング		
20		価値をつくる		
21		価値の実態		
22		満足の姿		
23		価値を形にしてい		
24		マーケティング・ミックス		
25		価値の役割		
26		お客様のための窓口(インターフェイス)		
27		お客様との対話(情報発信)		
28		お客様との対話(お客様の意見を聞く)		
29		物的要因～インターネットの活用		
30		サービスをシステム化していく		

実務経験のある教員等による授業科目の授業計画書(シラバス)

静岡アリス美容専門学校

教科名	化粧品化学【実務経験のある教員等による授業科目】	授業時間数	60時間
到達目標	美容師の使用する道具や器具または薬剤等について、最低限の知識を得ること。危険、事故を防止する観点を身につける。		
成績評価の方法・基準	授業態度、小テスト結果、期末試験結果等を指標にし、学則に基づき成績評価を行う。・教科課程に従い、教科課目別試験の成績が、100点満点とする6段階の評価で行い、A～Eを合格とし、Fは不合格とし、合格した場合に評価する。 A 100～75点 B 74～63点 C 62～50点 D 49～43点 E 42～30点 F 29点以下		
授業の方法	講義		
実施時期	1学年	1.2.3学期に実施	2学年
授業の回数	授業の内容		
1	化粧品の社会的意義と品質特性	プリント等	備考
2	化粧品の社会的意義と品質特性		
3	化粧品の規制 化粧品の定義、製造販売の規制		
4	化粧品の規制 化粧品の定義、製造販売の規制		
5	化粧品の規制 化粧品の品質等の規制、表示広告の規制		
6	化粧品の規制 化粧品の品質等の規制、表示広告の規制		
7	水性原料		
8	水性原料		
9	油性原料		
10	油性原料		
11	界面活性剤の基本的性質		
12	界面活性剤の基本的性質		
13	界面活性剤の種類、界面活性剤の化粧品への応用		
14	界面活性剤の種類、界面活性剤の化粧品への応用		
15	化粧品の社会的意義と品質特性		
16	化粧品の規制 化粧品の定義、製造販売の規制		
17	化粧品の規制 化粧品の品質等の規制、表示広告の規制		
18	水性原料		
19	油性原料		
20	界面活性剤の基本的性質		
21	界面活性剤の種類、界面活性剤の化粧品への応用		
22	高分子化合物		
23	色材		
24	香料		
25	化粧品原料の品質保持に用いられる配合成分、機能		
26	その他の特殊成分		
27	皮膚清浄用化粧品		
28	化粧水		
29	クリーム・乳液の皮膚への作用、種類と機能		
30	乳液の種類と機能		
31	その他の基礎化粧品		
32	メイクアップ用化粧品の種類と剤形		
33	ベースメイクアップ化粧品		
34	ポイントメイクアップ化粧品 紅類、アイメイクアップ化粧品		
35	ポイントメイクアップ化粧品 美爪用化粧品類		
36	頭皮や毛髪の性状		
37	シャンプー剤		
38	スタイリング剤の性能、油性・液状スタイリング剤		
39	スタイリング剤 高分子物質を基材とするスタイリング剤		
40	パーマ剤の原理～パーマ剤第1剤		
41	パーマ剤第2剤、パーマ剤の使用上の注意		
42	ヘアカラーの種類と染毛メカニズム～脱色剤・脱染剤		
43	永久染毛剤		

授業の方法		講義		
実施時期	1学年	1.2.3学期に実施	2学年	1.2.3学期に実施
44	ヘアカラーの使用上の注意			
45	育毛剤			
46	芳香製品			
47	特殊香粧品			
48	香粧品の安定性と取り扱い上の注意			
49	香粧品の安全性			
50	物質の構成			
51	化学結合			
52	物質の量と変化			
53	溶液とその性質			
54	コロイド			
55	酸と塩基の性質			
56	中和反応と塩			
57	酸化と還元反応			
58	有機化合物	低分子化合物		
59	有機化合物	低分子化合物		
60	有機化合物	高分子化合物		

実務経験のある教員等による授業科目の授業計画書(シラバス)

静岡アールス美容専門学校

教科名	美容技術理論【実務経験のある教員等による授業科目】		授業時間数	150時間
到達目標	美容の技術を容易に行うための基本的な理論を学び知識を得て、「なぜそうなのか」を説明するチカラをつける。			
成績評価の方法・基準	授業態度、提出物の提出状況、小テスト結果、期末試験結果等の内容を指標にし、学則に基づき成績評価を行う。・教科課程に従い、教科課目別試験の成績が、100点満点とする6段階の評価で行い、A～Eを合格とし、Fは不合格とし、合格した場合に評価する。 A 100～75点 B 74～63点 C 62～50点 D 49～43点 E 42～30点 F 29点以下			
授業の方法	講義			
実施時期	1学年	1.2.3学期に実施	2学年	1.2.3学期に実施
授業の回数	授業の内容		プリント等	備考
1	美容技術理論を学ぶにあたって 美容理論と美容技術			
2	美容技術における作業姿勢			
3	美容技術に必要な人体各部の名称			
4	第1章 美容技術における用具			
5	第1章 コーム			
6	第1章 ブラシ			
7	第1章 シザーズ			
8	第1章 レザー			
9	第1章 ピン類、ヘアクリップ			
10	第1章 ロッド			
11	第1章 ローラー			
12	第1章 ヘアアイロン			
13	第1章 ヘアドライヤー			
14	第1章 ヘアスチーマー			
15	第1章 遠赤外線機			
16	第2章 シャンプーイング総論			
17	第2章 サイドシャンプー			
18	第2章 バックシャンプー			
19	第2章 リンス・コンディショナー・トリートメント			
20	第2章 スキアルプトリートメント			
21	第2章 ヘッドスパ			
22	第3章 ヘアカットイングとは			
23	第3章 シザーズとレザーの扱い方			
24	第3章 ヘアカットイングの正しい姿勢			
25	第3章 ブロッキング			
26	第3章 ヘアカットイングの基礎理論			
27	第3章 ベーシックなカット技法			
28	第3章 シザーズによるカット技法			
29	第3章 レザーによるカット技法			
30	第4章 パーマネントウェーブの歴史と現在			
31	第4章 パーマネントウェーブの理論			
32	第4章 パーマ剤の分類			
33	第4章 パーマ剤に関する注意事項			
34	第4章 パーマネントウェーブ技術			
35	第4章 ワインディングのバリエーション			
36	第4章 縮毛矯正(高温整髪用アイロン使用)			
37	第5章 ヘアセッティングとは			
38	第5章 ヘアパーティング			
39	第5章 ヘアシェービング			
40	第5章 ヘアカーリング			
41	第5章 ヘアウエービング			
42	第5章 ローラーカーリング			
43	第5章 ブロードライ			

授業の方法 実施時期	講義	
	1学年	1.2.3学期に実施
実施時期		2学年
		1.2.3学期に実施
44	第5章 アイロンセッティング	
45	第5章 バックコーミング	
46	第5章 アップスタイル	
47	第5章 ウィッグとヘアピース	
48	第6章 ヘアカラーリング概論	
49	第6章 ヘアカラーの種類	
50	第6章 ヘアカラーのタイプ別特徴	
51	第6章 染毛のメカニズム	
52	第6章 色の基本	
53	第6章 毛髪のレベルとアンドートーン	
54	第6章 パッチテスト(皮膚貼布試験)	
55	第6章 染毛剤使用時の注意事項	
56	第6章 ヘアカラーリングの道具	
57	第6章 酸化染毛剤(アルカリ性タイプカラー)の技術手順	
58	第6章 酸性染毛料の技術手順	
59	第6章 ヘアブリーチ(脱色)	
60	参考資料 シャンプー剤の構成成分	
61	参考資料 ヘアトリートメント剤の構成成分	
62	第7章 エステティック概論	
63	第7章 皮膚の生理と構造	
64	第7章 カウンセリング	
65	第7章 美容におけるマッサージ理論	
66	第7章 フェイシャルケア技術	
67	第7章 フェイシャル及びデコルテマッサージ	
68	第7章 フェイシャルパック	
69	第7章 ボディケア技術	
70	第7章 ボディマッサージ	
71	第8章 ネイル技術概論	
72	第8章 ネイル技術の種類	
73	第8章 爪の構造と機能	
74	第8章 爪のカット形状	
75	第8章 ネイル技術と公衆衛生	
76	第8章 カウンセリング	
77	第8章 ネイルケア	
78	第8章 アーティフィシヤルネイル	
79	第8章 手と足のマッサージ	
80	第9章 メイクアップ概論	
81	第9章 顔の形態学的な観察	
82	第9章 メイクアップと色彩	
83	第9章 皮膚の生理と構造	
84	第9章 メイクアップの道具	
85	第9章 スキンケア	
86	第9章 ベースメイクアップ	
87	第9章 アイメイクアップ	
88	第9章 アイブロウメイクアップ	
89	第9章 リップメイクアップ	
90	第9章 ブラッシュオンメイクアップ	
91	第9章 まつ毛エクステンション	
92	第10章 日本髪の由来	
93	第10章 日本髪の各部の名称	
94	第10章 日本髪の種類と特徴	
95	第10章 日本髪と調和	
96	第10章 日本髪の装飾品	
97	第10章 日本髪の結髪道具	
98	第10章 日本髪の結髪技術	
99	第10章 日本髪の手入れ	
100	第10章 かつら	
101	第11章 着付けの目的	

授業の方法 実施時期	講義		
	1学年	1.2.3学期に実施	2学年
102	第11章 礼装		1.2.3学期に実施
103	第11章 着物と季節		
104	第11章 着物のいろいろ		
105	第11章 帯		
106	第11章 小物		
107	第11章 着物各部の名称		
108	第11章 着物のたたみ方		
109	第11章 着付けの一般的要領		
110	第11章 留袖着付け技術		
111	第11章 振袖着付け技術		
112	第11章 帯締め、帯揚げの結び方		
113	第11章 男子礼装羽織、袴着付け技術		
114	第11章 羽織のひもの結び方		
115	第11章 女子袴着付け技術		
116	第11章 婚礼着付けの際の注意事項		
117	第11章 和装花嫁		
118	第11章 洋装花嫁(ウエディングドレスの知識)		
119	和装生地 of 知識 季節と生地・仕立て		
120	TPO別和装基本ルール		

実務経験のある教員等による授業科目の授業計画書(シラバス)

静岡アリス美容専門学校

教科名	文化論【実務経験のある教員等による授業科目】			授業時間数	60時間
到達目標	美容という職業を歴史を紐解きながら、社会生活の中でどのような位置づけにしているかを理解する。また、その役割を説明し今後の理美容業界の未来を予測するチカラをつける。				
成績評価の方法・基準	授業態度、提出物の提出状況、小テスト結果、期末試験結果等の内容を指標にし、学則に基づき成績評価を行う。・教科課程に従い、教科課目別試験の成績が、100点満点とする6段階の評価で行い、A～Eを合格とし、Fは不合格とし、合格した場 合に評価する。				
授業の方法	講義				
実施時期	1学年	1.2.3学期に実施	2学年	1.2.3学期に実施	
授業の回数	授業の内容			プリント等	備考
1	総論				
2	〃				
3	日本の美容業の歴史	美容業の発生			
4	江戸時代美容業				
5	近代美容業				
6	〃				
7	現代美容業				
8	日本の理容業・美容業の歴史年表				
9	ファッション文化史	日本編 縄文・弥生・古墳時代			
10	〃	〃			
11	〃	〃			
12	〃	古代(飛鳥・奈良・平安時代)			
13	〃	〃			
14	〃	〃			
15	〃	〃			
16	〃	中世(平安末・鎌倉・室町・戦国時代)			
17	〃	〃			
18	〃	〃			
19	〃	近世Ⅰ(戦国末・安土桃山時代)			
20	〃	〃			
21	〃	近世Ⅱ(江戸時代)			
22	〃	〃			
23	〃	〃			
24	〃	〃			
25	〃	〃			
26	〃	〃			
27	〃	〃			
28	〃	〃			
29	〃	近代(明治・大正・昭和20年まで)			
30	〃	〃			
31	〃	〃			
32	〃	〃			
33	〃	〃			
34	〃	〃			
35	〃	現代Ⅰ(1945年～1950年代)			
36	〃	〃			
37	〃	〃			
38	〃	現代Ⅱ(1960年代～1970年代)			
39	〃	〃			
40	〃	〃			
41	〃	現代Ⅲ(1980年代～1990年代)			
42	〃	〃			
43	〃	〃			

授業の方法	講義			
実施時期	1学年	1.2.3学期に実施	2学年	1.2.3学期に実施
44	"	現代Ⅳ(2000年代以降)		
45	"	"		
46	ファッション文化史 西洋編		古代エジプト	
47	"	古代ギリシャ・ローマ		
48	"	"		
49	"	古代ゲルマン		
50	"	中世ヨーロッパ		
51	"	"		
52	"	"		
53	"	近世Ⅰ(16世紀)		
54	"	"		
55	"	近世Ⅱ(17世紀)		
56	"	"		
57	"	近世Ⅲ(18世紀)		
58	"	"		
59	"	近代Ⅰ(18世紀末～19世紀初め)		
60	"	近代Ⅱ(19世紀)		

実務経験のある教員等による授業科目の授業計画書(シラバス)

静岡アルス美容専門学校

教科名	保健【実務経験のある教員等による授業科目】		授業時間数	90時間
到達目標	美容の技術を安全に行い、伝染病等を伝播する場合とらないよう体の構造を把握する。病気についての知識を深め、感染症等の蔓延を未然に防ぐ能力をつける。			
成績評価の方法・基準	授業態度、提出物の提出状況、小テスト結果、期末試験結果等の内容を指標にし、学則に基づき成績評価を行う。*教科課程に従い、教科課題別試験の成績が、100点満点とする6段階の評価で行い、A～Eを合格とし、Fは不合格とし、合格した場合に評価する。 A 100～75点 B 74～63点 C 62～50点 D 49～43点 E 42～30点 F 29点以下			
授業の方法	講義			
実施時期	1学年	1.2.3学期に実施	2学年	1.2.3学期に実施
授業の回数	授業の内容		プリント等	備考
1	人体各部の名称			
2	頭部、顔部、頸部の体表解剖学			
3	"			
4	細胞から系統まで			
5	体液のあらまし			
6	血液のあらまし			
7	骨の種類と構造			
8	骨の連結			
9	骨格器系とそのはたらき			
10	骨の保健			
11	筋の種類とその特徴			
12	主な骨格筋とそのはたらき			
13	顔面筋と表情運動			
14	理容・美容の作業と筋疲労			
15	筋系の保健			
16	神経系の成り立ち			
17	中枢神経とそのはたらき			
18	末梢神経とそのはたらき			
19	神経系の保健			
20	視覚			
21	聴覚			
22	平衡感覚			
23	味覚			
24	嗅覚			
25	皮膚感覚			
26	深部感覚と内蔵感覚			
27	血液循環の仕組み			
28	血液の循環経路			
29	心臓と血管のはたらき			
30	リンパ管系の仕組みとはたらき			
31	循環器系の保健			
32	呼吸器系のあらまし			
33	気道			
34	肺の仕組みとガス交換			
35	呼吸運動			
36	呼吸器系の保健			
37	消化器系のあらまし			
38	消化管の仕組み			
39	消化管のはたらき			
40	消化腺とそのはたらき			
41	消化と物質代謝			
42	消化器系の保健			
43	泌尿器系の仕組み			

授業の方法		講義	
実施時期	1学年	1.2.3学期に実施	2学年
		1.2.3学期に実施	
44	泌尿器系のはたらき		
45	泌尿器系の保健		
46	人体とホルモン		
47	下垂体(脳下垂体)		
48	甲状腺と上皮小体		
49	脾臓		
50	副腎		
51	精巣と卵巣		
52	内分泌系の調節機構		
53	ストレス		
54	内分泌系の保健		
55	生理的適応		
56	免疫的適応		
57	〃		
58	皮膚の表面		
59	皮膚の断面		
60	表皮		
61	表皮と真皮の境		
62	真皮		
63	皮下組織		
64	皮膚の部位差		
65	皮膚付属器官の構造 毛		
66	〃		
67	皮膚付属器官の構造 脂腺(皮脂腺)		
68	〃 汗腺		
69	〃 爪		
70	皮膚の血管		
71	皮膚のリンパ管		
72	皮膚の神経		
73	対外保護作用		
74	体温調節作用		
75	知覚作用と皮膚反射		
76	分泌排泄作用		
77	呼吸作用		
78	吸収作用		
79	貯蔵作用		
80	免疫・解毒・排除作用		
81	ビタミンD形成作用		
82	表情作用		
83	再生作用		
84	毛のはたらき		
85	爪のはたらき		
86	皮膚と全身状態		
87	皮膚と精神		
88	皮膚と栄養		
89	皮膚と嗜好品		
90	皮膚と体内病変		

実務経験のある教員等による授業科目の授業計画書(シラバス)

静岡アールス美容専門学校

教科名	衛生管理【実務経験のある教員等による授業科目】		授業時間数	90時間
到達目標	サロンでの業務を確実に行うため、個人の衛生への関心、社会全体の公衆衛生・環境衛生の理解、感染症疾病予防法、消毒技術を身につけさせる。			
成績評価の方法・基準	授業態度、提出物の提出状況、小テスト結果、期末試験結果等の内容を指標にし、学則に基づき成績評価を行う。・教科課程に従い、教科課題目別試験の成績が、100点満点とする6段階の評価で行い、A～Eを合格とし、Fは不合格とし、合格した場合に評価する。 A 100～75点 B 74～63点 C 62～50点 D 49～43点 E 42～30点 F 29点以下			
授業の方法	講義			
実施時期	1学年	1.2.3学期に実施	2学年	1.2.3学期に実施
授業の回数	授業の内容		プリント等	備考
1	公衆衛生の意義と課題			
2	欧米の公衆衛生の歩み			
3	我が国の公衆衛生の歩み			
4	理容師・美容師と公衆衛生			
5	保健所と理容業・美容業			
6	予防医学			
7	公衆衛生と統計			
8	母子保健			
9	成人・高齢者保健			
10	〃			
11	精神保健			
12	栄養と食物			
13	〃			
14	医療制度、医療保健制度			
15	介護保健制度			
16	環境衛生の概要～内容			
17	環境衛生の目的と意義・環境衛生活動			
18	空気と健康			
19	温度、湿度、気流(風)と健康			
20	水と健康			
21	日光と健康 気候と健康			
22	衣食住と健康 衣服の衛生			
23	食品の衛生			
24	住居の衛生			
25	上・下水道と廃棄物			
26	衛生害虫とネズミ			
27	公害と環境保全			
28	理容所・美容所の衛生管理～自主的管理			
29	施設と設備～従業者の心得			
30	衛生的取り扱い			
31	感染症発見の歴史、感染症と法律			
32	感染症の分類			
33	病原微生物の種類、形と大きさ			
34	微生物の構造、生活現象			
35	微生物の増殖と環境の影響			
36	感染症の予防 微生物の病原体と人体の感受性			
37	汚染、感染及び発病			
38	常在細菌叢			
39	免疫と予防接種			
40	感染症発生の要因			
41	感染症予防の3原則			
42	理容・美容と感染症			
43	空気・飛沫を介して感染する感染症			

授業の方法		講義	
実施時期	1学年	1.2.3学期に実施	2学年
			1.2.3学期に実施
44	飲食物を介して感染する感染症		
45	血液等を介して感染する感染症		
46	動物・節足動物を介して感染する感染症		
47	消毒とは 消毒法の歴史		
48	病原微生物と非病原微生物		
49	消毒の原理		
50	消毒の意義		
51	消毒に関連のある法の規定		
52	消毒を怠った場合の危険と理容師・美容師の責任		
53	消毒法の種類		
54	消毒(殺菌)に必要な条件		
55	病原微生物の抵抗力		
56	消毒薬・消毒薬使用液の使用、保存上の注意		
57	理学的消毒法(殺菌法)		
58	紫外線消毒		
59	煮沸消毒		
60	蒸気(大気圧下の蒸気)消毒		
61	その他の理学的消毒法		
62	科学的消毒法(殺菌法) アルコール類による消毒		
63	次亜塩素酸ナトリウム(塩素剤)による消毒		
64	界面活性剤(逆性石けん、両性界面活性剤)による消毒		
65	グルコル酸クロルヘキシジンによる消毒		
66	その他の消毒薬		
67	優れた消毒法の条件		
68	消毒を行う際の注意事項		
69	消毒法の実習 各種消毒薬 消毒薬の概要		
70	器具の使い方		
71	常備しておくといよい消毒薬と希釈液の濃度		
72	消毒薬希釈法		
73	〃		
74	理容所・美容所における消毒の原則		
75	理容所・美容所の消毒設備		
76	理容・美容器具類」の消毒法(布片などの用具を含む)		
77	〃		
78	理容師・美容師の手指の消毒		
79	その他のものの消毒		
80	理容所・美容所の消毒の現状		
81	理容所・美容所の清潔法の実際 清潔保持と清掃		
82	洗剤による清浄法		
83	洗い場の構造と清潔保持		
84	清掃		
85	刈り取った毛の処理、ふた付き汚物箱などの消毒		
86	ハエやカなどの駆除		
87	付表1 理容師法施工規則・美容師法施工規則で規定されている消毒法とその特		
88	付表2 理容・美容器具、布片などの消毒法(例)		
89	付録 理容所及び美容所における衛生管理要領		
90	理・美容所の自主管理点検表		

教科名	総合美容技術【実務経験のある教員等による授業科目】			授業時間数	420時間
到達目標	サロンワークに必要な美容技術全般について、基礎を身につける 修了試験の合格をする				
成績評価の方法・基準	授業態度、提出物の提出状況、修了試験結果、期末試験結果等の内容を指標にし、学則に基づき成績評価を行う。・教科課程に従い、教科課題別試験の成績が、100点満点とする6段階の評価で行い、A～Eを合格とし、Fは不合格とし、合格した場合に評価する。 A 100～75点 B 74～63点 C 62～50点 D 49～43点 E 42～30点 F 29点以下				
授業の方法	講義・演習・実技・実習				
実施時期	1学年	1.2.3学期に実施	2学年	1.2.3学期に実施	
授業の回数	授業の内容			プリント等	備考
1	ヘアカラー	座学（毛髪薬学）髪のしくみ、カラー剤の種類と理論			
2		グレイメイク実習 グレイメイクの説明と塗布の仕方、相元3センチ			
3		座学（色彩学）色の三原色、色の三属性			
4		グレイメイク実習 ライトナーで相元3センチトーンアップ			
5		ホイルワークの説明と準備、展示			
6		座学（造形学）色彩の復習、パーソナルカラー、立体的なカラー			
7		相元3センチトーンアップしたところをトレーニングルームでタッチ(全頭20分)			
8		筆記テスト(カラー理論)15分 実技(相元3センチタッチ)全頭20分			
9		ホイルワーク ホイルワークの構成と手探レッスン			
10		グレイメイク 相元3センチ 全頭タイム分15			
11		ホイルワーク ウィッグで全頭30分 ホイル56枚以上			
12		座学 アドバンス 毛髪薬学、色彩学、造形学 総合			
13		ホイルワーク ウィッグで全頭30分 56枚以上			
14		ホイルワーク 全頭20分 56枚以上のクオリティーをあげる			
15		ホイルワーク 全頭20分 56枚以上精度を高める			
16		ホイルワーク レベル別にクラス分け、タイムライアル 3分間でホイル6枚以上			
17		ホイルワーク レベル別にクラス分け、タイムライアル 3分間でホイル6枚以上			
18		ホイルワーク最終トレーニング 試験を想定した形でレッスン(全頭30分ホイル56枚以上)			
19		ホイルワーク試験 全頭30分ホイル56枚以上 座学（アドバンス）			
20	シャンプー	バックシャンプーの手技と手順の説明			
21		タオル、クロスの付け方、道具のセッティング			
22		バググシャンプー展示(ウィッグ)			
23		相モデルでエアールレッスン			
24		流しの手技と手順と確認			
25		流し相モデルでエアールレッスン			
26		流し相モデルでレッスン			
27		流し相モデルでタオルドライ、ターバンの仕方			
28		流し相モデルで感感をディスプレイ			
29		シャンプー手技、手順の確認			
30		シャンプー相モデルでエアールレッスン			
31		シャンプー相モデルで泡立てからシャンプー			
32		シャンプー相モデルでシャンプーの流しまで			
33		シャンプー相モデルでシャンプーの流しまで			
34		トリートメント、蒸しタオル、マッサージの説明			
35		シャンプー相モデルでシャンプー～マッサージ流してターバンして上げる			
36		シャンプー相モデルでシャンプー～ターバンして上げる(タイム15分)			
37		相モデルでタイム15分(感感をディスプレイ)			
38		相モデルで細かい手技の指導			
39		サイドシャンプーの手技と手順の説明			
40		サイドシャンプーの展示(ウィッグ)			
41		相モデルでエアールレッスン			
42		流しの手技と手順の確認			
43		流しの手技と手順(相モデルでエアールレッスン)			
44		相モデルで流しレッスン			
45		相モデルで流しの感感をディスプレイ			
46		シャンプーの手技と手順確認			
47		シャンプー相モデルでエアールレッスン			
48		シャンプー相モデルでレッスン			
49		シャンプー相モデルでシャンプー～流しまで			

50		トリートメント、蒸しタオル、マッサージの説明	
51	シャンプー	シャンプー相モデルでシャンプー～ターバンして上げる	
52		シャンプー相モデルでシャンプー～ターバンして上げる(タイム15分)	
53		相モデルでタイム15分(感想をディスカッション)	
54		相モデルで細かい手技の指導	
55		バックシャンプー おおしてたバーバンして上げる(タイム15分)	
56		サイドシャンプーとおしてターバンして上げる(タイム15分)	
57		5つの型と姿勢	
58	カット	セクシヨンの取り方	
59		シェービングの角度	
60		左手(右手)の役割	
61		カットテクニク プラントカット	
62		カットテクニク ポイントカット	
63		カットテクニク スライシング	
64		カットテクニク チャンネルカット	
65		ワンレングス ブロッキング	
66		ワンレングス セクシヨンの取り方	
67		ワンレングス シェーブの仕方	
68		ワンレングス ステムの角度	
69		ワンレングスカット	
70		ワンレングスカット (タイム30分)	
71		ワンレングスカット (タイム40分)	
72		グラデュエーション ブロッキング	
73		グラデュエーション セクシヨンの取り方	
74		グラデュエーション シェーブの仕方	
75		グラデュエーション ステムの角度	
76		グラデュエーションカット	
77	パーマ	グラデュエーション (タイム25分)	
78		レイヤー ブロッキング	
79		レイヤー セクシヨンの取り方	
80		レイヤー シェーブの仕方	
81		レイヤー ステムの角度	
82		レイヤーカット	
83		レイヤーカット (25分)	
84		セニングの使い方	
85		セニングで	
86		ウィッグ 巻き方の種類 平巻き (技術まるごとレッスン帳P.123)	
87		ウィッグ 巻き方の種類 縦巻き (同上P.123)	
88		ウィッグ 巻き方の種類 斜め巻き (同上P.123)	
89		ウィッグ 巻き方の種類 スバイル巻き (同上P.124)	
90		ウィッグ 巻き方の種類 ビンバーマ	
91		ウィッグ 巻き方の種類 ビンバーマ(スバイル)	
92		ウィッグ ワンレングススタイル ページックの巻き方	
93		ウィッグ ワンレングススタイル ページックの巻き方 『タイム10分以内に入る』	
94		ウィッグ ワンレングススタイル ページックの巻き方 『タイム10分以内に入る』 『タイム10分以内に入る』 に時間がかかる	
95		ウィッグ グラデュエーションスタイル ページックの巻き方	
96		ウィッグ グラデュエーションスタイル ページックの巻き方 (タイム10分以内に入る)	
97		ウィッグ グラデュエーションスタイル ページックの巻き方 (タイム10分以内に入る)	
98		ウィッグ レイヤースタイル ページックの巻き方	
99		ウィッグ レイヤースタイル ページックの巻き方 (タイム10分以内に入る)	
100		ウィッグ レイヤースタイル ページックの巻き方 (タイム10分以内に入る)	
101	パーマ	ウィッグ レイヤースタイル ページック巻き タイム10分	
102		ヘルプの仕方 (ペーパー、ロッド、ゴムの選り方)	
103		ターバンの巻き方	
104		スティックの差し方	
105		相モデル ロープレ 総当り 1〜3人目まで (ウインディング〜ターバンまで15分)	
106		相モデル ロープレ 総当り 4〜6人目まで (ウインディング〜ターバンまで15分)	
107		相モデル ロープレ 総当り 7〜9人目まで (ウインディング〜ターバンまで15分)	
108		相モデル 水巻きオールバーバースターバン 15分	
109		縮毛矯正 薬剤塗布の仕方	
110		縮毛矯正 アイロン操作	
111		道具の使い方(ブラシ、コーム、ピン、逆毛、カーラー)	
112		ウィッグ コテ巻き 毛先内巻き	
113		ウィッグ コテ巻き 毛先外巻き	

178
179
180
181
182
183
184
185
186
187
188
189
190
191
192
193
194
195
196
197
198
199
200
201
202
203
204
205
206
207
208
209
210
211
212
213
214
215
216
217
218
219
220
221
222
223
224
225
226
227
228
229
230
231
232
233
234
235
236
237
238
239
240
241

国家試験実技

センター・フロント・バックサイドの巻き方、バランスが理解できている
タイムなしで全頭を巻くことができる。
27分で全頭のWD終了することができる
27分で明白な巻き残しがなくWDができる
27分でオンベース、P層より下を1/2オンベースでWDができる (ポイント)
27分でバックサイド・サイドのコンストラクターを1本スレ内でWDができる (ポイント)
27分でネーワンのロッドが生え際・肩に沿ってフワントするよつにWDができる (ポイント)
27分でロッド表面に毛髪が付きや量なりな、ツヤのあるWDができる (ポイント)
タイム27分で上記ポイントをおさえたWDができる
タイム27分でWD終了後、机上の衛生状態も整えることができる
タイム22分 上記ポイントをおさえたWDができる
タイム22分でWD終了後、机上の衛生状態も整えることができる
タイム17分 上記ポイントをおさえたWDができる
タイム17分でWD終了後、机上の衛生状態も整えることができる
タイム16分 上記ポイントをおさえたWDができる
タイム16分でWD終了後、机上の衛生状態も整えることができる。
タイム15分 上記ポイントをおさえたWDができる
タイム15分でWD終了後、机上の衛生状態も整えることができる。
タイム14分 上記ポイントをおさえたWDができる
タイム14分でWD終了後、机上の衛生状態も整えることができる。
タイム12分 上記ポイントをおさえたWDができる
タイム12分でWD終了後、机上の衛生状態も整えることができる。
顔面ふき取りを1分以内で、ふき残しがない状態で仕上げることができる
タイム20分 減点のないW、Dができる

タイム20分で減点のないWD終了後、机上の衛生状態も整えることができる
道具の使い方、セッティング、シェアーの仕方の習得
フィンガーウェーブ45度、リッジの作り方の習得
各種ピンカールの作り方、ビンの個数、7段構成、区分けが理解できている
全頭をつくることできる
37分で全頭をつくることできる
37分で頭部を1/3ピンカール、左右1/3フィンガーウェーブのAWをつくる ことができる。(ポイント)
37分で指定されたピンカールが指定された面所に巻き取られたAWをつ つくることできる。(ポイント)
37分で1〜7段目のフィンガーウェーブの幅のバランスが良く、耳について いないAWをつくることできる。(ポイント)
37分でフィンガーウェーブ・リッジに割れや量なりのないAWをつくること できる。(ポイント)
37分でルーブがウェーブ幅の2/3、ステムの方向が45度、カールシステム でカールスペースが適切な幅でつくられていて、リフトカールのスラ イディングが45度目まで入っていることできる。(ポイント)
37分でフィンガーウェーブとピンカールのつながりが割れていないAWを つくることできる。
37分で割れ目、毛先が出ないようリブをつくることできる (ポイント)
タイム37分で 上記ポイントをおさえたAWがつくることできる
タイム37分でAW終了後、机上の衛生状態も整えることができる
タイム32分 上記ポイントをおさえたAWができる
タイム32分でAW終了後、机上の衛生状態も整えることができる
タイム27分 上記ポイントをおさえたAWができる
タイム27分でAW終了後、机上の衛生状態も整えることができる
タイム22分 上記ポイントをおさえたAWができる
タイム22分でAW終了後、机上の衛生状態も整えることができる
タイム17分 上記ポイントをおさえたAWができる
タイム17分でAW終了後、机上の衛生状態も整えることができる
タイム20分 上記ポイントをおさえたAWができる
タイム20分でAW終了後、机上の衛生状態も整えることができる
顔面ふき取りを1分以内で、ふき残しがない状態で仕上げることができる
タイム25分 減点のないAWができる
タイム25分で減点のないAW終了後、机上の衛生状態も整えることができ る。
道具の使い方、セッティング、ブローキングの習得
カット手順の習得
チェックカットの方法が理解できている
全体のつながり、展開図を理解しカットしている
オンベース、オーバーダイレクションを理解しカットしている
全頭カットができる
27分で全体のカットが終了することができる
27分でカット後のチェックカットができる
27分で明白な切り残しがなくカットできる
27分で計測ポイントの誤差が±5mm内でカットできる(F.P N.P T.P もみ せふん)
27分でヘアムラインに2cm以上、誤差なくカットできる (ポイント)

国家試験実技

センター・フロント・バックサイドの巻き方、バランスが理解できている
タイムなしで全頭を巻くことができる。
27分で全頭のWD終了することができる
27分で明白な巻き残しがなくWDができる
27分でオンベース、P層より下を1/2オンベースでWDができる (ポイント)
27分でバックサイド・サイドのコンストラクターを1本スレ内でWDができる (ポイント)
27分でネーワンのロッドが生え際・肩に沿ってフワントするよつにWDができる (ポイント)
27分でロッド表面に毛髪が付きや量なりな、ツヤのあるWDができる (ポイント)
タイム27分で上記ポイントをおさえたWDができる
タイム27分でWD終了後、机上の衛生状態も整えることができる
タイム22分 上記ポイントをおさえたWDができる
タイム22分でWD終了後、机上の衛生状態も整えることができる
タイム17分 上記ポイントをおさえたWDができる
タイム17分でWD終了後、机上の衛生状態も整えることができる
タイム16分 上記ポイントをおさえたWDができる
タイム16分でWD終了後、机上の衛生状態も整えることができる。
タイム15分 上記ポイントをおさえたWDができる
タイム15分でWD終了後、机上の衛生状態も整えることができる。
タイム14分 上記ポイントをおさえたWDができる
タイム14分でWD終了後、机上の衛生状態も整えることができる。
タイム12分 上記ポイントをおさえたWDができる
タイム12分でWD終了後、机上の衛生状態も整えることができる。
顔面ふき取りを1分以内で、ふき残しがない状態で仕上げることができる
タイム20分 減点のないW、Dができる

242	27分でカットラインに2cm以上、誤差なくカットできる	
243	27分でサイド・バックサイドが 2cm内でシンメトリーを意識しカットできる	
244	27分でチェックカット後、机上の衛生状態を整えることができる。	
245	27分で上記ポイントをおさええたカットができる	
246	23分で全体のカットが終了することができる	
247	23分でカット後のチェックカットができる	
248	23分で明白な切り残しがなくカットできる	
249	23分で計測ポイントの誤差が±5mm内でカットできる(F.P N.P T.P もみ)	
250	23分でヘムラインに 2cm内、誤差なくカットできる	
251	23分でカットラインに 2cm内、誤差なくカットできる	
252	23分でサイド・バックサイドが 2cm内でシンメトリーを意識しカットできる	
253	23分でチェックカット後、机上の衛生状態を整えることができる。	
254	23分で上記ポイントをおさええたカットができる	
255	17分で全体のカットが終了することができる	
256	17分でカット後のチェックカットができる	
257	17分で明白な切り残しがなくカットできる	
258	17分で計測ポイントの誤差が±5mm内でカットできる(F.P N.P T.P もみ)	
259	17分でヘムラインに 2cm内、誤差なくカットできる	
260	17分でカットラインに 2cm内、誤差なくカットできる	
261	17分でサイド・バックサイドが 2cm内でシンメトリーを意識しカットできる	
262	17分でチェックカット後、机上の衛生状態を整えることができる。	
263	17分で上記ポイントをおさええたカットができる	
264	14分でチェックカット後、机上の衛生状態を整えることができる。	
265	14分で上記ポイントをおさええたカットができる	
266	12分でチェックカット後、机上の衛生状態を整えることができる。	
267	12分で上記ポイントをおさええたカットができる	
268	顔面ふき取りを1分以内で、ふき残しがない状態で仕上げる事ができる	
269	20分で減点のないカットができる	
270	20分でチェックカット後、減点なく机上の衛生状態を整えることができる。	
271	ホイルワーク ホイルワークの構成と手技レッスン	
272	グレイメイク 根元3センチ 全頭タイム分15	
273	ホイルワーク ウィッグで全頭30分 ホイル56枚以上	
274	座学 アドバンス 毛髪薬学、色彩学、造形学 総合	
275	ホイルワーク ウィッグで全頭30分 56枚以上	
276	ホイルワーク 全頭20分 56枚以上のクオリティをあげる	
277	ホイルワーク 全頭20分 56枚以上 精度を高める	
278	ホイルワーク レベル別にガラス分け、タイムライダル 3分間でホイル8枚以上	
279	ホイルワーク レベル別にガラス分け、タイムライダル 3分間でホイル8枚以上	
280	ホイルワーク試験 試験を想定した形でレイズアップ(全頭30分ホイル56枚以上)	
281	ホイルワーク試験 全頭30分ホイル56枚以上 座学 (アドバンス)	
282	シャンプー 相モデルでシャンプー～マッサージュ流してターバンして上げる	
283	シャンプー 相モデルでシャンプー～ターバンして上げる(タイム15分)	
284	相モデルでタイム15分(感想をディスカッション)	
285	相モデルで細かい手技の指導	
286	バックシャンプー とおしてしたバーンして上げる(タイム15分)	
287	サイドシャンプーとおしてターバンして上げる(タイム15分)	
288	ウィッグ レイヤースタイル ペーシック巻き タイム10分	
289	ヘルプの仕方 (ペーパー、ロッド、ゴムの渡し方)	
290	ターバンの巻き方	
291	スティックの差し方	
292	相モデル ローフレ 総当り 1～3人目まで (ワインディング～ターバンまで15分)	
293	相モデル ローフレ 総当り 4～6人目まで (ワインディング～ターバンまで15分)	
294	相モデル ローフレ 総当り 7～9人目まで (ワインディング～ターバンまで15分)	
295	相モデル 水巻きオールバーバースターバン 15分	
296	ウィッグ バーマスタイルブロー (タイム15分)	
297	ウィッグ バーマスタイルブロー (タイム15分で綺麗に仕上げる)	
298	相モデル ハンドブロー デンマンブランチブロー	
299	相モデル ハンドブロー デンマンブランチブロー 内巻仕上げ (タイム20分)	
300	相モデル ハンドブロー デンマンブランチブロー 内巻仕上げ (タイム15分で綺麗に仕上げる)	
301	ホイルワーク ホイルワークの構成と手技レッスン	
302	グレイメイク 根元3センチ 全頭タイム分15	
303	ホイルワーク ウィッグで全頭30分 ホイル56枚以上	
304	座学 アドバンス 毛髪薬学、色彩学、造形学 総合	
305	ホイルワーク ウィッグで全頭30分 56枚以上	

国家試験実技

ヘアカラー

シャンプー

パーマ

ヘアブロー

306	ヘアカラー	ホイルワーク 全頭20分 56枚以上のクオリティをあげる	
307		ホイルワーク 全頭20分 56枚以上精度を高める	
308		ホイルワーク レベル別1にクラス分け、タイムライアル 3分間でホイル6枚以上	
309		ホイルワーク レベル別1にクラス分け、タイムライアル 3分間でホイル6枚以上	
310		ホイルワーク最終トレーニング 試験を想定した形でレッズペイン(全頭30分ホイル56枚以上)	
311		ホイルワーク試験 全頭30分ホイル56枚以上 座学 (アドバンス)	
312		シャンプー相モデルでシャンプー～マッサージュを通してターバンして上げる	
313		シャンプー相モデルでシャンプー～ターバンして上げる(タイム15分)	
314	シャンプー	相モデルでタイム15分(感想をディスカッション)	
315		相モデルで細かい手技の指導	
316		バックシャンプー おおしてたバーンして上げる(タイム15分)	
317		サイドシャンプーおとしてターバンして上げる(タイム15分)	
318		ウィッグ レイヤースタイル ペーシック巻き タイム10分	
319		ヘルプの仕方 (ペーパー、ロッド、ゴムの渡し方)	
320		ターバンの巻き方	
321	パーマ	スティックの差し方	
322		相モデル ローフレ 総当り 1～3人目まで (ワインディングターバンまで15分)	
323		相モデル ローフレ 総当り 4～6人目まで (ワインディングターバンまで15分)	
324		相モデル ローフレ 総当り 7～9人目まで (ワインディングターバンまで15分)	
325		相モデル 水巻きオールバーバースターバン 15分	
326		ウィッグ パーマスタイルブロー (タイム15分)	
327		ウィッグ パーマスタイルブロー (タイム15分で綺麗に仕上げる)	
328	ヘアブロー	相モデル ハンドブロー デンメンブラジブロー	
329		相モデル ハンドブロー デンメンブラジブロー 内容仕上げ (タイム20分)	
330		相モデル ハンドブロー デンメンブラジブロー 内容仕上げ (タイム15分)	
331		道具の使い方、セッティング、ブローキングの習得	
332		カット手順の習得	
333		チェックカットの方法が理解できている	
334		全体のつながり、展開図を理解しカットしている	
335		オンベース、オーバーダイレクションを理解しカットしている	
336		全頭カットができる	
337		27分で全体のカットが終了することができる	
338		フィンガーウエーブ45度、リッジの作り方の習得	
339		各種ピンカールの作り方、ビンの個数、7段精梳、区分けが理解できている	
340	国家試験実技	全頭をつくることができる	
341		37分で全頭をつくることができる	
342		37分で頭部を1/3ピンカール、左右1/3フィンガーウエーブのAWをつくる事ができる (ポイント)	
343		上巻き、下巻き、ゴム掛け手順の習得	
344		センター・フロント・バックサイドの巻き方、バランスが理解できている	
345		タイムなしで全頭を巻くことができる。	
346		27分で全頭のWVD終了することができる	
347		机上、足元の準備が正しくできている	
348		落下用具類の適切な消毒処理ができる	
349		出血事故の処理が適切にできる	
350		道具の収納状況を正しく保ちながら作業ができる	
351		膝が床に接触、又は接触しているように見える姿勢をとっていない	
352		終了時、作業開始時と同じ状態に机上を整えることができる	
353		校内試験時、指示された服装、頭髪セットが正しくできる	
354		爪は1mm以下に切られている	
355	国家試験実技	1分以内で用具に汚れや毛髪が付着のない状態で準備をし頭面ふきとりができる	
356		準備、作業中、作業後ともに滅点のない状態を保つことができる	
357		道具の使い方、セッティング、ブローキング、ロッドの配置、本数の習得	
358		上巻き、下巻き、ゴム掛け手順の習得	
359		センター・フロント・バックサイドの巻き方、バランスが理解できている	
360		タイムなしで全頭を巻くことができる。	
361		座学 (毛髪実学)髪のおくみ、カラー剤の種類と理論	
362		グレイメイク実習 グレイメイクの説明と塗布の仕方、相元3センチ	
363		座学 (色彩学) 色の三原色、色の三属性	
364		グレイメイク実習 ライトナーで相元3センチートーンアップ	
365		ホイルワークの説明と準備、展示	
366		座学 (造形学) 色彩の復習、パーソナルカラー、立体的なカラー	
367		相元3センチートーンアップしたところをトーンアップクリームでリタッチ(室頭20分)	
368		筆記テスト(カラー理論)15分 実技(相元3センチタッチ)全頭20分	
369		ホイルワーク ホイルワークの構成と手技レッスン	

ヘアカラー	ヘアカラー	グレイメイク 根元3センチ 全頭タイム分15		
370		グレイメイク 根元3センチ 全頭タイム分15		
371		ホイルワーク ウィッグで全頭30分 ホイル56枚以上		
372		座学 アドバンス 毛髪実学、色彩学、造形学 総合		
373		ホイルワーク ウィッグで全頭30分 56枚以上		
374		ホイルワーク 全頭20分 56枚以上のクオリティをあげる		
375		ホイルワーク 全頭20分 56枚以上精度を高める		
376		ホイルワーク レベル別にクラス分け、タイムリアル 3分間でホイル8枚以上		
377		ホイルワーク レベル別にクラス分け、タイムリアル 3分間でホイル8枚以上		
378		ホイルワーク最終トレーニング 試験を想定した形でレッスン(全頭30分ホイル56枚以上)		
379		ホイルワーク試験 全頭30分ホイル56枚以上 座学 (アドバンス)		
380		バックシャンブーの手技と手順の説明		
381		タオル、クロスの付け方、道具のセッティング		
382		バックシャンブー展示(ウィッグ)		
383		相モデルでエアレーズン		
384		流しの手技と手順の確認		
385		流し相モデルでエアレーズン		
386		流し相モデルでレッスン		
387		流し相モデルでタオルドライ、ターバンの仕方		
388		流し相モデルで感をディスプレイ		
389		シャンブー手技、手順の確認		
390	シャンブー	シャンブー相モデルでエアレーズン		
391		シャンブー相モデルで泡立てからシャンブー		
392		シャンブー相モデルでシャンブーの流しまで		
393		シャンブー相モデルでシャンブーの流しまで		
394		トリートメント、蒸しタオル、マッサージの説明		
395		シャンブー相モデルでシャンブー～マッサージ流してターバンして上げる		
396		シャンブー相モデルでシャンブー～ターバンして上げる(タイム15分)		
397		相モデルでタイム15分(感をディスプレイ)		
398		相モデルで細かい手技の指導		
399		サイドシャンブーの手技と手順の説明		
400		サイドシャンブーの展示(ウィッグ)		
401		相モデルでエアレーズン		
402		流しの手技と手順の確認		
403		流しの手技と手順(相モデルでエアレーズン)		
404		相モデルで流しレッスン		
405		相モデルで流しの感をディスプレイ		
406		シャンブーの手技と手順確認		
407		シャンブー相モデルでエアレーズン		
408		シャンブー相モデルでレッスン		
409		シャンブー相モデルでシャンブー～流しまで		
410		トリートメント、蒸しタオル、マッサージの説明		
411		5つの型と姿勢		
412		セクションの取り方		
413		シェーピングの角度		
414		左手(右手)の役割		
415	カット	カットテクニク ブラントカット		
416		カットテクニク ポイントカット		
417		カットテクニク スライシング		
418		カットテクニク チャンネルカット		
419		ワンレングス ブロッキング		
420		ワンレングス セクションの取り方		

教科名	美容実習【実務経験のある教員等による授業科目】			授業時間数	900時間
到達目標	国家試験課題と美容技術全般について、基礎を身につける				
成績評価の方法・基準	授業態度、提出物の提出状況、期末試験結果等の内容を指標にし、学則に基づき成績評価を行う。・教科課程に従い、教科課目別試験の成績が、100点満点とする6段階の評価で行い、A～Eを合格とし、Fは不合格とし、合格した場合に評価する。 A 100～75点 B 74～63点 C 62～50点 D 49～43点 E 42～30点 F 29点以下				
授業の方法	講義・演習・実技・実習				
実施時期	1学年	1.2.3学期に実施	2学年	1.2.3学期に実施	
授業の回数	授業の内容				備考
1	ヘアカラー	座学（毛髪美学）髪のしくみ、カラー剤の種類と理論		プリント等	
2		グレイメイク実習 グレイメイクの説明と塗布の仕方、根元3センチ			
3		座学（色彩学）色の三原色、色の三属性			
4		グレイメイク実習 ライトナーで根元3センチアンアップ			
5		ホイルワークの説明と準備、展示			
6		座学（造形学）色彩の復習、パーソナルカラー、立体的なカラー			
7		根元3センチアンアップしたところをトレーニングクリームでリタッチ(全頭20分)			
8		筆記テスト(カラー理論)15分 実技(根元3センチリタッチ)全頭20分			
9		ホイルワーク ホイルワークの構成と手技レッスン			
10		グレイメイク 根元3センチ 全頭タイム分15			
11		ホイルワーク ウィッグで全頭30分 ホイル56枚以上			
12		座学 アドバンス 毛髪美学、色彩学、造形学 総合			
13		ホイルワーク ウィッグで全頭30分 56枚以上			
14		ホイルワーク 全頭20分 56枚以上のクオリティをあげる			
15		ホイルワーク 全頭20分 56枚以上精度を高める			
16		ホイルワーク レベル別にクラス分け、タイムライアル 3分間でホイル6枚以上			
17		ホイルワーク レベル別にクラス分け、タイムライアル 3分間でホイル6枚以上			
18		ホイルワーク最終トレーニング 試験を想定した形でレッスン(全頭30分ホイル56枚以上)			
19		ホイルワーク試験 全頭30分ホイル56枚以上 座学（アドバンス）			
20	シャンプー	バックシャンプーの手技と手順の説明			
21		タオル、クロスの付け方、道具のセッティング			
22		バッグシャンプー展示(ウィッグ)			
23		相モデルでエア－レッスン			
24		流しの手技と手順と確認			
25		流し相モデルでエア－レッスン			
26		流し相モデルでレッスン			
27		流し相モデルでタオルドライ、ターバンの仕方			
28		流し相モデルで感想をディスカッション			
29		シャンプー手技、手順の確認			
30		シャンプー相モデルでエア－レッスン			
31		シャンプー相モデルで立ってからシャンプー			
32		シャンプー相モデルでシャンプーの流しまで			
33		シャンプー相モデルでシャンプーの流しまで			
34		トリートメント、蒸しタオル、マッサージの説明			
35		シャンプー相モデルでシャンプー～マッサージ流してターバンして上げる			
36		シャンプー相モデルでシャンプー～ターバンして上げる(タイム15分)			
37		相モデルでタイム15分(感想をディスカッション)			
38		相モデルで細かい手技の指導			
39		サイドシャンプーの手技と手順の説明			
40		サイドシャンプーの展示(ウィッグ)			
41		相モデルでエア－レッスン			
42		流しの手技と手順の確認			
43		流しの手技と手順(相モデルでエア－レッスン)			
44		相モデルで流しレッスン			
45		相モデルで流しの感想をディスカッション			
46		シャンプーの手技と手順確認			
47		シャンプー相モデルでエア－レッスン			
48		シャンプー相モデルでレッスン			

49	シャンブー相モデルでシャンブー〜流しまで	
50	トリートメント、蒸しタオル、マッサージの説明	
51	シャンブー相モデルでシャンブー〜マッサージ流してターバンして上げる	
52	シャンブー相モデルでシャンブー〜ターバンして上げる(タイム15分)	
53	相モデルでタイム15分(感想をディスカッション)	
54	相モデルで細かい手技の指導	
55	バックシャンブー とおしてターバンして上げる(タイム15分)	
56	サイドシャンブーとおしてターバンして上げる(タイム15分)	
57	5つの型と姿勢	
58	セクションの取り方	
59	シェーピングの角度	
60	左手(右手)の役割	
61	カットテクニク プラントカット	
62	カットテクニク ポイントカット	
63	カットテクニク スライシング	
64	カットテクニク チャンネルカット	
65	ワンレングス ブロッキング	
66	ワンレングス セクションの取り方	
67	ワンレングス シェーブの仕方	
68	ワンレングス ステムの角度	
69	ワンレングスカット	
70	ワンレングスカット (タイム30分)	
71	ワンレングスカット (タイム20分)	
72	グラデュエーション ブロッキング	
73	グラデュエーション セクションの取り方	
74	グラデュエーション シェーブの仕方	
75	グラデュエーション ステムの角度	
76	グラデュエーションカット	
77	グラデュエーション (タイム25分)	
78	レイヤー ブロッキング	
79	レイヤー セクションの取り方	
80	レイヤー シェーブの仕方	
81	レイヤー ステムの角度	
82	レイヤーカット	
83	レイヤーカット (25分)	
84	セニングの使い方	
85	セニングで	
86	ウィッグ 巻き方の種類 平巻き (技術まるとレッスン帳P.123)	
87	ウィッグ 巻き方の種類 縦巻き (同上P.123)	
88	ウィッグ 巻き方の種類 斜め巻き (同上P.123)	
89	ウィッグ 巻き方の種類 スパイラル巻き (同上P.124)	
90	ウィッグ 巻き方の種類 ビンバーマ	
91	ウィッグ 巻き方の種類 ビンバーマ(スパイラル)	
92	ウィッグ ワンレングススタイル ページックの巻き方	
93	ウィッグ ワンレングススタイル ページックの巻き方 『タイム10分以内に入る』	
94	ウィッグ ワンレングススタイル ページックの巻き方 『タイム10分以内に入る』 に綺麗に巻ける	
95	ウィッグ グラデュエーションスタイル ページックの巻き方	
96	ウィッグ グラデュエーションスタイル ページックの巻き方 (タイム10分以内に入る)	
97	ウィッグ グラデュエーションスタイル ページックの巻き方 (タイム10分以内に入る)	
98	ウィッグ レイヤースタイル ページックの巻き方	
99	ウィッグ レイヤースタイル ページックの巻き方 (タイム10分以内に入る)	
100	ウィッグ レイヤースタイル ページックの巻き方 (タイム10分以内に入る)	
101	ウィッグ レイヤースタイル ページック巻き タイム10分	
102	ヘルプの仕方 (ペーパー、ロッド、ゴムの渡し方)	
103	ターバンの巻き方	
104	スティックの差し方	
105	相モデル ロープル 総当り 1〜3日目まで (ワインディングターバンまで15分)	
106	相モデル ロープル 総当り 4〜6日目まで (ワインディングターバンまで15分)	
107	相モデル ロープル 総当り 7〜9日目まで (ワインディングターバンまで15分)	
108	相モデル 水巻きオールバーバースターバン 15分	
109	縮毛矯正 薬剤塗布の仕方	
110	縮毛矯正 アイロン操作	
111	道具の使い方(ブラシ、コーム、ピン、逆毛、カーラー)	
112	ウィッグ コテ巻き 毛先内巻き	

シャンブー

カット

パーマ

パーマ

113	ウィッグ コテ巻き 毛先外巻き	
114	ウィッグ コテ巻き MIX巻き 顔周リ内巻き	
115	ウィッグ コテ巻き MIX巻き 顔周リ外巻き	
116	ウィッグ コテ巻き ウェーブ巻き	
117	ウィッグ コテ巻き 波ウェーブ	
118	相モデル コテ巻き 毛先内巻き	
119	相モデル コテ巻き 毛先外巻き	
120	相モデル コテ巻き MIX巻き 顔周リ内巻き	
121	相モデル コテ巻き MIX巻き 顔周リ外巻き	
122	相モデル コテ巻き ウェーブ巻き	
123	相モデル コテ巻き 波ウェーブ	
124	アレンジスタイル 編みおろし (リサBOOK P.76)	
125	アレンジスタイル 編みおろし (リサBOOK P.76) (タイム15分)	
126	アレンジスタイル 編みおろし (リサBOOK P.76) (タイム15分で綺麗に仕上げない)	
127	アレンジスタイル ハーフアップ (リサBOOK P.82)	
128	アレンジスタイル ハーフアップ (リサBOOK P.82) (タイム15分)	
129	アレンジスタイル ハーフアップ (リサBOOK P.82) (タイム15分で綺麗に仕上げない)	
130	アレンジスタイル フルアップ (リサBOOK P.102)	
131	アレンジスタイル フルアップ (リサBOOK P.102) (タイム20分)	
132	アレンジスタイル フルアップ (リサBOOK P.102) (タイム20分で綺麗に仕上げない)	
133	相モデル アレンジスタイル オリジナル	
134	相モデル アレンジスタイル オリジナル 撮影	
135	本格セットアップスタイル 前髪かきあげ、上下2つ夜会、ロープ編み	
136	本格セットアップスタイル 前髪かきあげ、上下2つ夜会、ロープ編み (タイム30分)	
137	本格セットアップスタイル 前髪かきあげ、上下2つ夜会、ロープ編み (タイム30分)	
138	本格セットアップスタイル (練習長 P.150～153)	
139	本格セットアップスタイル (練習長 P.150～153) (タイム30分)	
140	本格セットアップスタイル (練習長 P.150～153) (タイム30分で綺麗に仕上げない)	
141	本格セットアップスタイル カールアップずし盛り	
142	本格セットアップスタイル カールアップずし盛り (タイム30分)	
143	本格セットアップスタイル カールアップずし盛り (タイム30分で綺麗に仕上げない)	
144	ウィッグ ドライ	
145	ウィッグ ハンドブロー	
146	ウィッグ ドライ・ハンドブロー (タイム10分)	
147	ウィッグ ドライ・ハンドブロー (タイム10分で綺麗に仕上げる)	
148	相モデル トライ	
149	相モデル ハンドブロー	
150	相モデル ドライ・ハンドブロー (タイム15分)	
151	相モデル ドライ・ハンドブロー (タイム15分で綺麗に仕上げる)	
152	ウィッグ デンマンブランチブロー	
153	ウィッグ ワンレングスブロー	
154	ウィッグ ワンレングスブロー (タイム20分)	
155	ウィッグ ワンレングスブロー (タイム15分で綺麗に仕上げる)	
156	ウィッグ レイヤースタイルブロー	
157	ウィッグ レイヤースタイルブロー (タイム20分)	
158	ウィッグ レイヤースタイルブロー (タイム15分で綺麗に仕上げる)	
159	ウィッグ レイヤースタイル ハンド、デンマンブロー (タイム15分)	
160	ウィッグ バーマススタイルのブロー	
161	ウィッグ バーマススタイルブロー (タイム15分)	
162	ウィッグ バーマススタイルブロー (タイム15分で綺麗に仕上げる)	
163	相モデル ハンドブロー デンマンブランチブロー	
164	相モデル ハンドブロー デンマンブランチブロー 内巻仕上げ (タイム20分)	
165	相モデル ハンドブロー デンマンブランチブロー 内巻仕上げ (タイム15分で綺麗に仕上げる)	
166	肌上、足元の準備が正しくできている	
167	浴下用器具の適切な消毒処理ができる	
168	出血事故の処理が適切にできる	
169	道具の収納状況を正しく保ちながら作業ができる	
170	膝が床に接触、又は接触しているように見える姿勢をとっていない	
171	終了時、作業開始時と同じ状態に肌上を整えることができる	
172	校内試験時、指示された服装、頭髪セットが正しくできる	
173	爪は1mm以下に切られている	
174	7分以内で用具に汚れや毛髪が付着等のない状態で準備をし顔面ふきとりができる	
175	準備、作業中、作業後ともに減点のない状態を保つことができる	
176	道具の使い方、セッティング、ブロッキング、ロッドの配置、本数の習得	

ヘアセット

ヘアブロー

ヘアブロー

241		27分でヘアラインに2cm以上、誤差なくカットできる	
242		27分でカットラインに2cm以上、誤差なくカットできる	
243		27分でサイド・バックサイドが 2cm内でシンメトリーを意識しカットできる	
244		27分でチェックカット後、机上の衛生状態を整えることができる。	
245		27分で上記ポイントをおさえたカットができる	
246		28分で全体のカットが終了することができる	
247		28分でカット後のチェックカットができる	
248		28分で明白な切り残しがなくカットできる	
249		28分で計測ポイントの誤差が±5mm内でカットできる(FP N.P T.P もみ)	
250		28分でヘアラインに 2cm内、誤差なくカットできる	
251		28分でカットラインに 2cm内、誤差なくカットできる	
252		28分でサイド・バックサイドが 2cm内でシンメトリーを意識しカットできる	
253		28分でチェックカット後、机上の衛生状態を整えることができる。	
254		28分で上記ポイントをおさえたカットができる	
255		17分で全体のカットが終了することができる	
256		17分でカット後のチェックカットができる	
257		17分で明白な切り残しがなくカットできる	
258		17分で計測ポイントの誤差が±5mm内でカットできる(FP N.P T.P もみ)	
259		17分でヘアラインに 2cm内、誤差なくカットできる	
260		17分でカットラインに 2cm内、誤差なくカットできる	
261		17分でサイド・バックサイドが 2cm内でシンメトリーを意識しカットできる	
262		17分でチェックカット後、机上の衛生状態を整えることができる。	
263		17分で上記ポイントをおさえたカットができる	
264		14分でチェックカット後、机上の衛生状態を整えることができる。	
265		14分で上記ポイントをおさえたカットができる	
266		12分でチェックカット後、机上の衛生状態を整えることができる。	
267		12分で上記ポイントをおさえたカットができる	
268		顔面ふき取りを1分以内で、ふき残しがない状態で仕上げることができる	
269		20分で減点のないカットができる	
270		20分でチェックカット後、減点なく机上の衛生状態を整えることができる。	
271		ホイルワーク ホイルワークの構成と手技レッスン	
272		グレイメイク 根元3センチ 全頭タイム分15	
273		ホイルワーク ウィッグで全頭30分 ホイル56枚以上	
274		座学 アドバンス 毛髪薬学、色彩学、造形学 総合	
275		ホイルワーク ウィッグで全頭30分 56枚以上	
276		ホイルワーク 全頭20分 56枚以上のクオリティをあげる	
277		ホイルワーク 全頭20分 56枚以上精度を高める	
278		ホイルワーク レベル別にグリス分け、タイムアップル 3分間でホイル56枚以上	
279		ホイルワーク レベル別にグリス分け、タイムアップル 3分間でホイル56枚以上	
280		ホイルワーク最終トレーニング 試験を想定した形でレッスン(全頭30分ホイル56枚以上)	
281		ホイルワーク試験 全頭30分ホイル56枚以上 座学 (アドバンス)	
282		シャンプー相モデルでシャンプー～マッサージ流してターバンして上げる	
283		シャンプー相モデルでシャンプー～ターバンして上げる(タイム15分)	
284		相モデルでタイム15分(感想をディスカッション)	
285		相モデルで細かい手技の指導	
286		バックシャンプー おおしてたバーンして上げる(タイム15分)	
287		サイドシャンプーおとしてターバンして上げる(タイム15分)	
288		ウィッグ レイヤースタイル ページック巻き タイム10分	
289		ヘルプの仕方 (ペーパー、ロッド、ゴムの渡し方)	
290		ターバンの巻き方	
291		スティックの差し方	
292		相モデル ロープレ 総当り 1～8人目まで (ソインティンク～ターバンまで15分)	
293		相モデル ロープレ 総当り 4～6人目まで (ソインティンク～ターバンまで15分)	
294		相モデル ロープレ 総当り 1～8人目まで (ソインティンク～ターバンまで15分)	
295		相モデル 水巻きオールペーパーバス～ターバン 15分	
296		ウィッグ パーマスタイルブロー (タイム15分)	
297		ウィッグ パーマスタイルブロー (タイム15分で綺麗に仕上げる)	
298		相モデル ハンドブロー デンマンブラスブロー	
299		相モデル ハンドブロー デンマンブラスブロー 内巻仕上げ (タイム20分)	
300		相モデル ハンドブロー デンマンブラスブロー 内巻仕上げ (タイム15分で綺麗に仕上げる)	
301		ホイルワーク ホイルワークの構成と手技レッスン	
302		グレイメイク 根元3センチ 全頭タイム分15	
303		ホイルワーク ウィッグで全頭30分 ホイル56枚以上	
304		座学 アドバンス 毛髪薬学、色彩学、造形学 総合	

国家試験実技

ヘアカラー

シャンプー

パーマ

ヘアブロー

305	ヘアカラー	ホイルワーク	ウィッグで全頭30分	56枚以上		
306		ホイルワーク	全頭20分	56枚以上のクオリティーをあげる		
307		ホイルワーク	全頭20分	56枚以上精度を高める		
308		ホイルワーク	レベル別ニグラスあげ、タイムファイナル	3分間でホイル6枚以上		
309		ホイルワーク	レベル別ニグラスあげ、タイムファイナル	3分間でホイル6枚以上		
310		ホイルワーク	最終トレーニング	試験を想定した形でレッスン(全頭30分ホイル56枚以上)		
311		ホイルワーク試験	全頭30分ホイル56枚以上	座学 (アドバンス)		
312		シャンプー相モデルでシャンプー～マッサージュ流してターバンして上げる				
313		シャンプー相モデルでシャンプー～ターバンして上げる(タイム15分)				
314		相モデルでタイム15分(感覚をディスカッション)				
315		相モデルで細かい手揉の指導				
316	シャンプー	バックシャンプー	とおしてターバンして上げる(タイム15分)			
317		サイドシャンプー	とおしてターバンして上げる(タイム15分)			
318		ウィッグ レイヤースタイル	ベージュ巻き タイム10分			
319		ヘルプの仕方	(ペーパー、ロッド、ゴムの渡し方)			
320		ターバンの巻き方				
321		スティックの差し方				
322	パーマ	相モデル ローフレ	総当たり 1～3人目まで (ワインディング～ターバンまで15分)			
323		相モデル ローフレ	総当たり 4～6人目まで (ワインディング～ターバンまで15分)			
324		相モデル ローフレ	総当たり 7～9人目まで (ワインディング～ターバンまで15分)			
325		相モデル	水巻きオールパーマ～ターバン 15分			
326		ウィッグ	パーマスタイルブロー (タイム15分)			
327		ウィッグ	パーマスタイルブロー (タイム15分で綺麗に仕上げる)			
328	ヘアブロー	相モデル	ハンドブロー デンマンブラスブロー			
329		相モデル	ハンドブロー デンマンブラスブロー 内巻仕上げ (タイム20分)			
330		相モデル	ハンドブロー デンマンブラスブロー 内巻仕上げ (タイム15分で綺麗に仕上げる)			
331			道具の使い方、セッティング、フロッギングの習得			
332		カット手順の習得				
333		チェックカットの方法が理解できている				
334		全体のつながり、展開図を理解しカットしている				
335		オンベース、オーバーダイレクションを理解しカットしている				
336		全頭カットができる				
337		27分で全体のカットが終了することができる				
338		フィンガーウエーブ45度、リッジの作り方の習得				
339		各種ピンカールの作り方、ピンの個数、7段構成、区分けが理解できている				
340	国家試験実技	全頭をつくることができる				
341		37分で全頭をつくることができる				
342		37分で頭部を1/3ピンカール、左右1/3フィンガーウエーブのAWをつくることができる (1ゼンカール)				
343		上巻き、下巻き、ゴム掛け手順の習得				
344		センター・フロント・バックサイドの巻き方、バランスが理解できている				
345		タイムなしで全頭を巻くことができる				
346		27分で全頭のWD終了することができる				
347		机上、足元の準備が正しくできている				
348		落下用具類の適切な消毒処理ができる				
349		出血事故の処理が適切にできる				
350		道具の収納状況を正しく保ちながら作業ができる				
351		膝が床に接触、又は接触しているように見える姿勢をとっていない				
352		終了時、作業開始時と同じ状態に机を整えることができる				
353		校内試験時、指示された服装、頭髪セットが正しくできる				
354		爪は1mm以下に切られている				
355	国家試験実技	7分以内で用具に汚れや毛髪が付着等のない状態で準備をし頭面をさとりができる				
356		準備、作業中、作業後ともに減点のない状態を保つことができる				
357		道具の使い方、セッティング、フロッギング、ロッドの配置、本数の習得				
358		上巻き、下巻き、ゴム掛け手順の習得				
359		センター・フロント・バックサイドの巻き方、バランスが理解できている				
360		タイムなしで全頭を巻くことができる				
361		座学 (毛髪実学)髪のおしくみ、カラー剤の種類と理論				
362		グレイメイク実習	グレイメイクの説明と塗布の仕方、相元3センチ			
363		座学 (色彩学)	色の三原色、色の三属性			
364		グレイメイク実習	ライトナーで相元3センチアンアップ			
365		ホイルワークの説明と準備、展示				
366		座学 (造形学)	色彩の復習、パーソナルカラー、立体的なカラー			
367		相元3センチアンアップしたところをトレーニングブローでリタッチ(30分)				
368		筆記テスト(カラー理論)15分	実技(相元3センチリタッチ)全頭20分			

369	ヘアカラー	ヘアイルワーク	ヘアイルワークの構成と手技レッスン		
370		グレイメイク	根元3センチ 全頭タイム分15		
371		ヘアイルワーク	ウィッグで全頭30分 ヘアイル56枚以上		
372		座学	アドバンス 毛髪薬学、色彩学、造形学 総合		
373		ヘアイルワーク	ウィッグで全頭30分 56枚以上		
374		ヘアイルワーク	全頭20分 56枚以上のクオリティをあげる		
375		ヘアイルワーク	全頭20分 56枚以上精度を高める		
376		ヘアイルワーク	レベル別にクラス分け、タイムライアル 3分間でヘアイル6枚以上		
377		ヘアイルワーク	レベル別にクラス分け、タイムライアル 3分間でヘアイル6枚以上		
378		ヘアイルワーク	最終トレーニング 試験を想定した形でレッスン(全頭30分ヘアイル56枚以上)		
379		ヘアイルワーク試験	全頭30分ヘアイル56枚以上 座学 (アドバンス)		
380		バックシャンブー	の手技と手順の説明		
381		タオル、クロス	の付け方、道具のセッティング		
382		バックシャンブー	展示(ウィッグ)		
383		相モデル	でエアールレッスン		
384		流しの手技と手順と確認			
385		流し相モデル	でエアールレッスン		
386		流し相モデル	でレッスン		
387		流し相モデル	でタオルドライ、ターバンの仕方		
388		流し相モデル	で感想をディスカッション		
389		シャンブー	手技、手順の確認		
390		シャンブー	相モデルでエアールレッスン		
391		シャンブー	相モデルで泡立てからシャンブー		
392		シャンブー	相モデルでシャンブーの流しまで		
393		シャンブー	相モデルでシャンブーの流しまで		
394		トリートメント、蒸しタオル、マッサージの説明			
395		シャンブー	相モデルでシャンブー～マッサージ流してターバンして上げる		
396		シャンブー	相モデルでシャンブー～ターバンして上げる(タイム15分)		
397		相モデル	でタイム15分(感想をディスカッション)		
398		相モデル	で細かい手技の指導		
399		サイドシャンブー	の手技と手順の説明		
400		サイドシャンブー	の展示(ウィッグ)		
401		相モデル	でエアールレッスン		
402		流しの手技と手順の確認			
403		流しの手技と手順	(相モデルでエアールレッスン)		
404		相モデル	で流しレッスン		
405		相モデル	で流しの感想をディスカッション		
406		シャンブー	の手技と手順確認		
407		シャンブー	相モデルでエアールレッスン		
408		シャンブー	相モデルでレッスン		
409		シャンブー	相モデルでシャンブー～流しまで		
410		トリートメント、蒸しタオル、マッサージの説明			
411		5つの型と姿勢			
412		セクションの取り方			
413		シェービングの角度			
414		左手(右手)の役割			
415		カットテクニク	ブランドカット		
416		カットテクニク	ポイントカット		
417		カットテクニク	スライシング		
418		カットテクニク	チャネルカット		
419		ワンレングス	ブロッキング		
420		ワンレングス	セクションの取り方		
421		ワンレングス	シェーブの仕方		
422		ワンレングス	ステムの角度		
423		ワンレングス	スカット		
424		ワンレングス	スカット (タイム30分)		
425		ワンレングス	スカット (タイム20分)		
426		グラデューション	ブロッキング		
427		グラデューション	セクションの取り方		
428		グラデューション	シェーブの仕方		
429		グラデューション	ステムの角度		
430		グラデューション	スカット		
431		グラデューション	(タイム25分)		
432		レイヤー	ブロッキング		
	カット				

433	レイヤー セクションの取り方		
434	レイヤー シェイプの仕方		
435	レイヤー スタムの角度		
436	レイヤーカット		
437	レイヤーカット (25分)		
438	セニングの使い方		
439	セニングで		
440	ウィッグ 巻き方の種類 平巻き (技術まるごとレッスン帳P.123)		
441	ウィッグ 巻き方の種類 縦巻き (同上P.123)		
442	ウィッグ 巻き方の種類 斜め巻き (同上P.123)		
443	ウィッグ 巻き方の種類 スパイラル巻き (同上P.124)		
444	ウィッグ 巻き方の種類 ビンバーマ		
445	ウィッグ 巻き方の種類 ビンバーマ(スパイラル)		
446	ウィッグ ワンレングススタイル ペーシックの巻き方		
447	ウィッグ ワンレングススタイル ペーシックの巻き方 『タイム10分以内に入る』		
448	ウィッグ ワンレングススタイル ペーシックの巻き方 『タイム10分以内に入る』		
449	ウィッグ グラデーションスタイル ペーシックの巻き方		
450	ウィッグ クラデーションスタイル ペーシックの巻き方 (タイム10分以内に入る)		
451	ウィッグ クラデーションスタイル ペーシックの巻き方 (タイム10分以内に入る)		
452	ウィッグ レイヤースタイル ペーシックの巻き方		
453	ウィッグ レイヤースタイル ペーシックの巻き方 (タイム10分以内に入る)		
454	ウィッグ レイヤースタイル ペーシックの巻き方 (タイム10分以内に入る)		
455	ウィッグ レイヤースタイル ペーシック巻き タイム10分		
456	ヘルプの仕方 (ペーパー、ロッド、ゴムの選り方)		
457	ターバンの巻き方		
458	スティックの差し方		
459	相モデル ロープレ 総当り 1～3人目まで (ワインディングターナーハンまで15分)		
460	相モデル ロープレ 総当り 4～8人目まで (ワインディングターナーハンまで15分)		
461	相モデル ロープレ 総当り 1～3人目まで (ワインディングターナーハンまで15分)		
462	相モデル 水巻きオールペーパーバスターバン 15分		
463	縮毛矯正 薬剤塗布の仕方		
464	縮毛矯正 アイロン操作		
465	机上、足元の準備が正しくできている		
466	落下用具類の適切な消毒処理ができる		
467	出血事故の処理が適切にできる		
468	道具の収納状況を正しく保ちながら作業ができる		
469	膝が床に接触、又は接触しているように見える姿勢をとっていない		
470	終了時、作業開始時と同じ状態に机上を整えることができる		
471	校内試験時、指示された服装、頭髪セットが正しくできる		
472	爪は1mm以下に切られている		
473	7分以内で両頬に汚れや毛髪が付着等のない状態で準備をし顔面ふぎとができる		
474	準備、作業中、作業後ともに減点のない状態を保つことができる		
475	道具の使い方、セッティング、ブッキング、ロッドの配置、本数の習得		
476	上巻き、下巻き、ゴム掛け手順の習得		
477	センター・フロント・バックサイドの巻き方、バランスが理解できている		
478	タイムなしで全頭を巻くことができる。		
479	27分で全頭のWD終了することができる		
480	27分で明白な巻き残しがなくWDができる		
481	27分でオンペーン、P風より速く1/2オフペーンでWDができる (ポイント)		
482	27分でハットサイド・サイドのジグザグを1本スレ内でWDができる (ポイント)		
483	27分でネープのロッドが空へ隙に沿ってフワフワする様にWDができる (ポイント)		
484	27分でロッド表面に毛髪の浮きや重なりなく、ツヤのあるWDができる (ポイント)		
485	タイム27分で上記ポイントをおさえたWDができる		
486	タイム27分でWD終了後、机上の衛生状態も整えることができる		
487	タイム22分 上記ポイントをおさえたWDができる		
488	タイム22分でWD終了後、机上の衛生状態も整えることができる		
489	タイム17分 上記ポイントをおさえたWDができる		
490	タイム17分でWD終了後、机上の衛生状態も整えることができる		
491	タイム16分 上記ポイントをおさえたWDができる		
492	タイム16分でWD終了後、机上の衛生状態も整えることができる。		
493	タイム15分 上記ポイントをおさえたWDができる		
494	タイム15分でWD終了後、机上の衛生状態も整えることができる。		
495	タイム14分 上記ポイントをおさえたWDができる		
496	タイム14分でWD終了後、机上の衛生状態も整えることができる。		

パーマ

パーマ

国家試験実技

561	カットテクニク	ブラントカット		
562	カットテクニク	ポイントカット		
563	カットテクニク	スライシング		
564	カットテクニク	チャンネルカット		
565	ワンレングス	ブロックング		
566	ワンレングス	セクションの取り方		
567	ワンレングス	シェーブの仕方		
568	ワンレングス	ステムの角度		
569	ワンレングス	スカット		
570	ワンレングス	スカット (タイム30分)		
571	ワンレングス	スカット (タイム20分)		
572	グラデュエーション	ブロックング		
573	グラデュエーション	セクションの取り方		
574	グラデュエーション	シェーブの仕方		
575	グラデュエーション	ステムの角度		
576	グラデュエーション	スカット		
577	グラデュエーション	(タイム25分)		
578	レイヤー	ブロックング		
579	レイヤー	セクションの取り方		
580	レイヤー	シェーブの仕方		
581	レイヤー	ステムの角度		
582	レイヤー	カット		
583	レイヤー	カット (25分)		
584	セニングの使い方			
585	セニングで			
586	ウィッグ	巻き方の種類 平巻き (技術まろごとレッスン帳P.123)		
587	ウィッグ	巻き方の種類 縦巻き (同上P.123)		
588	ウィッグ	巻き方の種類 斜め巻き (同上P.123)		
589	ウィッグ	巻き方の種類 スパイラル巻き (同上P.124)		
590	ウィッグ	巻き方の種類 ビンバーマ		
591	ウィッグ	巻き方の種類 ビンバーマ(スパイラル)		
592	ウィッグ	ワンレングススタイル ペーシックの巻き方		
593	ウィッグ	ワンレングススタイル ペーシックの巻き方 『タイム10分以内に入れる』		
594	ウィッグ	ワンレングススタイル ペーシックの巻き方 『タイム10分以内に絡髪に巻ける』		
595	ウィッグ	グラデュエーションスタイル ペーシックの巻き方		
596	ウィッグ	グラデュエーションスタイル ペーシックの巻き方 (タイム10分以内に入れる)		
597	ウィッグ	グラデュエーションスタイル ペーシックの巻き方 (タイム10分以内に絡髪に巻ける)		
598	ウィッグ	レイヤースタイル ペーシックの巻き方		
599	ウィッグ	レイヤースタイル ペーシックの巻き方 (タイム10分以内に入れる)		
600	ウィッグ	レイヤースタイル ペーシックの巻き方 (タイム10分以内に絡髪に巻ける)		
601	ウィッグ	レイヤースタイル ペーシック巻き タイム10分		
602	ヘルプの仕方 (ペーパー、ロッド、ゴムの渡し方)			
603	ターハンの巻き方			
604	スティックの差し方			
605	相モデル ロープレ 総当り 1～8人目まで (ワインディングターナーハン			
606	相モデル ロープレ 総当り 4～8人目まで (ワインディングターナーハン			
607	相モデル ロープレ 総当り 7～8人目まで (ワインディングターナーハン			
608	相モデル 水巻きオールバーバスターハン 15分			
609	縮毛矯正 薬剤塗布の仕方			
610	縮毛矯正 アイロン操作			
611	道具の使い方(ブラジ、コーム、ピン、逆毛、カーラー)			
612	ウィッグ コデ巻き 毛先内巻き			
613	ウィッグ コデ巻き 毛先外巻き			
614	ウィッグ コデ巻き MIX巻き 顔周りに巻き			
615	ウィッグ コデ巻き MIX巻き 顔周りに巻き			
616	ウィッグ コデ巻き ウェーブ巻き			
617	ウィッグ コデ巻き 波ウェーブ			
618	相モデル コデ巻き 毛先内巻き			
619	相モデル コデ巻き 毛先外巻き			
620	相モデル コデ巻き MIX巻き 顔周りに巻き			
621	相モデル コデ巻き MIX巻き 顔周りに巻き			
622	相モデル コデ巻き ウェーブ巻き			
623	相モデル コデ巻き 波ウェーブ			
624	アレンジメントスタイル 編みおろし (リザBOOK P.76)			

カット

パーマ

パーマ

625	
626	
627	
628	
629	
630	
631	
632	
633	
634	
635	
636	
637	
638	
639	
640	
641	
642	
643	
644	
645	
646	
647	
648	
649	
650	
651	
652	
653	
654	
655	
656	
657	
658	
659	
660	
661	
662	
663	
664	
665	
666	
667	
668	
669	
670	
671	
672	
673	
674	
675	
676	
677	
678	
679	
680	
681	
682	
683	
684	
685	
686	
687	
688	

ヘアセット

アレンジスタイル 編みおろし (リサBOOK P.76) (タイム15分)	
アレンジスタイル 編みおろし (リサBOOK P.76) (タイム15分で綺麗に仕上げ)	
アレンジスタイル ハーフアップ (リサBOOK P.82)	
アレンジスタイル ハーフアップ (リサBOOK P.82) (タイム15分)	
アレンジスタイル ハーフアップ (リサBOOK P.82) (タイム15分で綺麗に仕上げ)	
アレンジスタイル フルアップ (リサBOOK P.102)	
アレンジスタイル フルアップ (リサBOOK P.102) (タイム20分)	
アレンジスタイル フルアップ (リサBOOK P.102) (タイム20分で綺麗に仕上げ)	
相モデル アレンジスタイル オリジナル	
相モデル アレンジスタイル オリジナル 撮影	
本格セットアップスタイル 前髪かきあげ、上下2つ夜会、ロープ編み	
本格セットアップスタイル 前髪かきあげ、上下2つ夜会、ロープ編み (タイム30分)	
本格セットアップスタイル 前髪かきあげ、上下2つ夜会、ロープ編み (タイム30分で綺麗に仕上げ)	
本格セットアップスタイル (練習長 P.150～153)	
本格セットアップスタイル (練習長 P.150～153) (タイム30分)	
本格セットアップスタイル (練習長 P.150～153) (タイム30分で綺麗に仕上げ)	
本格セットアップスタイル カールアップすじ盛り (タイム30分)	
本格セットアップスタイル カールアップすじ盛り (タイム30分で綺麗に仕上げ)	
ウィッグ ドライ	
ウィッグ ハンドブロー	
ウィッグ ドライ・ハンドブロー (タイム10分)	
ウィッグ ドライ・ハンドブロー (タイム10分で綺麗に仕上げる)	
相モデル ドライ	
相モデル ハンドブロー	
相モデル ドライ・ハンドブロー (タイム15分)	
相モデル ドライ・ハンドブロー (タイム15分で綺麗に仕上げる)	
ウィッグ デンマンブランチブロー	
ウィッグ ワンレングスブロー	
ウィッグ ワンレングスブロー (タイム20分)	
ウィッグ ワンレングスブロー (タイム15分で綺麗に仕上げる)	
ウィッグ レイヤースタイルブロー	
ウィッグ レイヤースタイルブロー (タイム20分)	
ウィッグ レイヤースタイルブロー (タイム15分で綺麗に仕上げる)	
ウィッグ レイヤースタイル ハンド、デンマンブロー (タイム15分)	
ウィッグ バーマースタイルのブロー	
ウィッグ バーマースタイルブロー (タイム15分)	
ウィッグ バーマースタイルブロー (タイム15分で綺麗に仕上げる)	
相モデル ハンドブロー デンマンブランチブロー	
相モデル ハンドブロー デンマンブランチブロー 内巻上げ (タイム20分)	
相モデル ハンドブロー デンマンブランチブロー 内巻上げ (タイム15分で綺麗に仕上げる)	
机上、足元の準備が正しくできている	
落下用具類の適切な消毒処理ができる	
出血事故の処理が適切にできる	
道具の収納状況を正しく保ちながら作業ができる	
腰が保ち、又は接触しているように見える姿勢をとっていない	
終了時、作業開始時と同じ状態に机を整えることができる	
校内試験時、指示された服装、頭髪セットが正しくできる	
爪は1mm以下に切られている	
7分以内で用具に汚れや毛髪が付着等のない状態で準備をし顔面ふきとりができる	
準備、作業中、作業後ともに減点のない状態を保つことができる	
道具の使い方、セッティング、プロッキング、ロットの配置、本数の留得	
上巻き、下巻き、ゴム掛け手順の習得	
センター・フロント・バックサイドの巻き方、バランスが理解できている	
タイムなしで全頭を巻くことができる	
27分で全頭のWD終了することができる	
27分で明白な巻き残しがないWDができる	
27分でオープンベース、P高まりトを172オープンベースでWDができる (ポイント)	
27分でバックサイド・ベースサイドのフットリートを1本スレ内でWDができる (ポイント)	
27分でネーワのロットが生え際についてラウンドするようにWDができる (ポイント)	
27分でロット表面に毛髪の向きや重なりなく、ツヤのあるWDができる (ポイント)	
タイム27分で上記ポイントをおさええたWDができる	
タイム27分でWD終了後、机上の衛生状態も整えることができる	
タイム22分 上記ポイントをおさええたWDができる	

国家試験実技

689	タイム22分でWD終了後、机上の衛生状態も整えることができる	
690	タイム17分 上記ポイントをおさえたWDができる	
691	タイム17分でWD終了後、机上の衛生状態も整えることができる	
692	タイム16分 上記ポイントをおさえたWDができる	
693	タイム16分でWD終了後、机上の衛生状態も整えることができる。	
694	タイム15分 上記ポイントをおさえたWDができる	
695	タイム15分でWD終了後、机上の衛生状態も整えることができる。	
696	タイム14分 上記ポイントをおさえたWDができる	
697	タイム14分でWD終了後、机上の衛生状態も整えることができる。	
698	タイム12分 上記ポイントをおさえたWDができる	
699	タイム12分でWD終了後、机上の衛生状態も整えることができる。	
700	顔面ふき取りを1分以内で、ふき残しがない状態で仕上げることができる	
701	タイム20分 減点のないW、Dができる	
702	タイム20分で減点のないWD終了後、机上の衛生状態も整えることができる	
703	道具の使い方、セッティング、シェープの仕方の習得	
704	フィンガーウェーブ45度、リッジの作り方の習得	
705	各種ピンカールの作り方、ピンの個数、7段階構成、区分けが理解できている	
706	全頭をつくることができる	
707	37分で全頭をつくることができる	
708	37分で顔部を1/3ピンカール、左右1/3フィンガーウェーブのAWをつくることができる（ゼイン）	
709	37分で指定されたピンカールが指定された面所に巻き取められたAWをつくる（ゼイン）	
710	37分で1～7段目のフィンガーウェーブの幅のバランスが良く、耳についているAWをつくる（ゼイン）	
711	37分でフィンガーウェーブ・リッジに割れや重なりのないAWをつくる（ゼイン）	
712	37分でループがウェーブ幅の2/3、ステムの方向が45度、カールステムにおさえたAWをつくる（ゼイン）	
713	37分でカールスペースが適切な幅でつくられていて、リフトカールのスライズがきまっているAWをつくる（ゼイン）	
714	37分でフィンガーウェーブとピンカールのつながりが割れていないAWをつくる（ゼイン）	
715	37分で割れたり、毛先が出ないようにループをつくることができる（ゼイン）	
716	タイム37分で 上記ポイントをおさえたAWができる	
717	タイム37分でAW終了後、机上の衛生状態も整えることができる	
718	タイム32分 上記ポイントをおさえたAWができる	
719	タイム32分でAW終了後、机上の衛生状態も整えることができる	
720	タイム27分 上記ポイントをおさえたAWができる	
721	タイム27分でAW終了後、机上の衛生状態も整えることができる	
722	タイム22分 上記ポイントをおさえたAWができる	
723	タイム22分でAW終了後、机上の衛生状態も整えることができる	
724	タイム17分 上記ポイントをおさえたAWができる	
725	タイム17分でAW終了後、机上の衛生状態も整えることができる	
726	タイム20分 上記ポイントをおさえたAWができる	
727	タイム20分でAW終了後、机上の衛生状態も整えることができる	
728	顔面ふき取りを1分以内で、ふき残しがない状態で仕上げることができる	
729	タイム25分 減点のないAWができる	
730	タイム25分で減点のないAW終了後、机上の衛生状態も整えることができる	
731	道具の使い方、セッティング、プロッキングの習得	
732	カット手順の習得	
733	チェックカットの方法が理解できている	
734	全体のつながり、展開図を理解しカットしている	
735	オンベース、オーバーダイレクションを理解しカットしている	
736	全頭カットができる	
737	27分で全体のカットが終了することができる	
738	27分でカット後のチェックカットができる	
739	27分で明白な切り残しがなくカットできる	
740	27分で計測ポイントの誤差が±5mm内でカットできる（F P N P T P もみ）	
741	27分でヘムラインに2cm以上、誤差なくカットできる	
742	27分でカットラインに2cm以上、誤差なくカットできる	
743	27分でサイド・バックサイドが2cm内でシンメトリーを意識しカットできる	
744	27分でチェックカット後、机上の衛生状態を整えることができる。	
745	27分で上記ポイントをおさえたカットができる	
746	23分で全体のカットが終了することができる	
747	23分でカット後のチェックカットができる	
748	23分で明白な切り残しがなくカットできる	
749	23分で計測ポイントの誤差が±5mm内でカットできる（F P N P T P もみ）	
750	23分でヘムラインに 2cm内、誤差なくカットできる	
751	23分でカットラインに 2cm内、誤差なくカットできる	
752	23分でサイド・バックサイドが 2cm内でシンメトリーを意識しカットできる	

753	23分でチェックカット後、机上の衛生状態を整えることができる。	
754	23分で上記ポイントをおさえたカットができる	
755	17分で全体のカットが終了することができる	
756	17分でカット後のチェックカットができる	
757	17分で明白な切り残しがなくカットできる	
758	17分で計測ポイントの誤差が±5mm内でカットできる(F・P・NP・TPもみ)	
759	17分でヘムラインに2cm内、誤差なくカットできる	
760	17分でカットラインに2cm内、誤差なくカットできる	
761	17分でサイド・バックサイドが20cm内でセンチメートルを意識しカットできる	
762	17分でチェックカット後、机上の衛生状態を整えることができる。	
763	17分で上記ポイントをおさえたカットができる	
764	14分でチェックカット後、机上の衛生状態を整えることができる。	
765	14分で上記ポイントをおさえたカットができる	
766	12分でチェックカット後、机上の衛生状態を整えることができる。	
767	12分で上記ポイントをおさえたカットができる	
768	顔面ふき取りを1分以内で、ふき残しがない状態で仕上げるができる	
769	20分で減点のないカットができる	
770	20分でチェックカット後、減点なく机上の衛生状態を整えることができる。	
771	ホールワーク ホールワークの構成と手技レッスン	
772	グレイメイク 根元3センチ 全頭タイム分15	
773	ホールワーク ウィッグで全頭30分 ホール56枚以上	
774	座学 アドバンス 毛髪薬学、色彩学、造形学 総合	
775	ホールワーク ウィッグで全頭30分 56枚以上	
776	ホールワーク 全頭20分 56枚以上のクオリティをあげる	
777	ホールワーク 全頭20分 56枚以上精度を高める	
778	ホールワーク レベル別にクラス分け、タイムファイナル 3分間でホール56枚以上	
779	ホールワーク レベル別にクラス分け、タイムファイナル 3分間でホール56枚以上	
780	ホールワーク最終トレーニング 試験を想定した形でレッスン(全頭30分ホール56枚以上)	
781	ホールワーク試験 全頭30分ホール56枚以上 座学 (アドバンス)	
782	シャンプー相モデルでシャンプー～マッサージ流してターバンして上げる	
783	シャンプー相モデルでシャンプー～ターバンして上げる(タイム15分)	
784	相モデルでタイム15分(感想をディスカッション)	
785	相モデルで細かい手技の指導	
786	バックシャンプー とおしてた/ターバンして上げる(タイム15分)	
787	サイドシャンプーとおしてターバンして上げる(タイム15分)	
788	ウィッグ レイヤースタイル ベーシック巻き タイム10分	
789	ヘルプの仕方 (ペーパー、ロッド、ゴムの渡し方)	
790	ターバンの巻き方	
791	スティックの差し方	
792	相モデル ローフレ 該当者 1～3人目まで (ワインディング～ターバンまで15分)	
793	相モデル ローフレ 該当者 4～6人目まで (ワインディング～ターバンまで15分)	
794	相モデル ローフレ 該当者 7～9人目まで (ワインディング～ターバンまで15分)	
795	相モデル 水巻きオールバーバースターバン 15分	
796	ウィッグ パーマスタイルブロー (タイム15分)	
797	ウィッグ パーマスタイルブロー (タイム15分で綺麗に仕上げる)	
798	相モデル ハンドブロー デンマンブラスブロー	
799	相モデル ハンドブロー デンマンブラスブロー 内番正上げ (タイム20分)	
800	相モデル ハンドブロー デンマンブラスブロー 内番正上げ (タイム15分で綺麗に仕上げる)	
801	ホールワーク ホールワークの構成と手技レッスン	
802	グレイメイク 根元3センチ 全頭タイム分15	
803	ホールワーク ウィッグで全頭30分 ホール56枚以上	
804	座学 アドバンス 毛髪薬学、色彩学、造形学 総合	
805	ホールワーク ウィッグで全頭30分 56枚以上	
806	ホールワーク 全頭20分 56枚以上のクオリティをあげる	
807	ホールワーク 全頭20分 56枚以上精度を高める	
808	ホールワーク レベル別にクラス分け、タイムファイナル 3分間でホール56枚以上	
809	ホールワーク レベル別にクラス分け、タイムファイナル 3分間でホール56枚以上	
810	ホールワーク最終トレーニング 試験を想定した形でレッスン(全頭30分ホール56枚以上)	
811	ホールワーク試験 全頭30分ホール56枚以上 座学 (アドバンス)	
812	シャンプー相モデルでシャンプー～マッサージ流してターバンして上げる	
813	シャンプー相モデルでシャンプー～ターバンして上げる(タイム15分)	
814	相モデルでタイム15分(感想をディスカッション)	
815	相モデルで細かい手技の指導	
816	バックシャンプー とおしてた/ターバンして上げる(タイム15分)	

国家試験実技

ヘアカラー

シャンプー

パーマ

ヘアブロー

ヘアカラー

シャンプー

817		サイドジャンプーとおしてターバンして上げる(タイム15分)		
818		ウィッグ レイヤースタイル ベーシック巻き タイム10分		
819		ヘルプの仕方 (ペーパー、ロッド、ゴムの渡し方)		
820		ターバンの巻き方		
821	パーマ	スティックの渡し方		
822		相モデル ローフレ 総当り 1〜3人目まで (ワインディング〜ターバンまで15分)		
823		相モデル ローフレ 総当り 4〜8人目まで (ワインディング〜ターバンまで15分)		
824		相モデル ローフレ 総当り 1〜8人目まで (ワインディング〜ターバンまで15分)		
825		相モデル 水巻きオールバーバス〜ターバン 15分		
826	ヘアブロー	ウィッグ パーマスタイルブロー (タイム15分)		
827		ウィッグ パーマスタイルブロー (タイム15分で綺麗に仕上げる)		
828		相モデル ハンドブロー デンマンブラスブロー		
829		相モデル ハンドブロー デンマンブラスブロー 内巻仕上げ (タイム20分)		
830		相モデル ハンドブロー デンマンブラスブロー 内巻仕上げ (タイム15分で綺麗に仕上げる)		
831	国家試験実技	道具の使い方、セッティング、ブローキングの習得		
832		カット手順の習得		
833		チェックカットの方法が理解できている		
834		全体のつながり、展開図を理解しカットしている		
835		オンベース、オーバーダイレクションを理解しカットしている		
836		全頭カットができる		
837		27分で全体のカットが終了することができる		
838		フィンガーウェーブ45度、リッジの作り方の習得		
839		各種ピンカールの作り方、ビンの種類、7段階板、区分けが理解できている		
840		全頭をつくることができる		
841	国家試験実技	37分で全頭をつくることができる		
842		37分で頭部を1/3ピンカール、左右1/3フィンガーウェーブのAWをつくることができる (横髪、内巻など)		
843		上巻き、下巻き、ゴム掛け手順の習得		
844		センター・フロント・バックサイドの巻き方、バランスが理解できている		
845		タイムなしで全頭を巻くことができる。		
846		27分で全頭のWVD終了することができる		
847		机上、足元の整頓が正しくできている		
848		洗下用種類の適切な消毒処理ができる		
849		出血事故の処理が適切にできる		
850		道具の収納状況を正しく保ちながら作業ができる		
851	国家試験実技	膝が床に接触、又は接触しているように見える姿勢をとっていない		
852		終了時、作業開始時と同じ状態に机上を整えることができる		
853		校内試験時、指示された服装、頭髪セットが正しくできる		
854		爪は1mm以下に切られている		
855		7分以内で指先に汚れや毛髪切屑等がない状態で準備をし頭面ふぎができる		
856		準備、作業中、作業後ともに減点のない状態を保つことができる		
857		道具の使い方、セッティング、ブローキング、ロッドの配置、本数の習得		
858		上巻き、下巻き、ゴム掛け手順の習得		
859		センター・フロント・バックサイドの巻き方、バランスが理解できている		
860		タイムなしで全頭を巻くことができる。		
861	ヘアカラー	座学 (毛髪薬学)髪のおくみ、カラー剤の種類と理論		
862		グレイメイク実習 グレイメイクの説明と塗布の仕方、根元3センチ		
863		座学 (色彩学) 色の三原色、色の三属性		
864		グレイメイク実習 ライトナーで根元3センチトーンアップ		
865		ホイルワークの説明と準備、展示		
866		座学 (造形学) 色彩の復習、パーソナルカラー、立体的なカラー		
867		根元3センチトーンアップしたところをトレーニンググリームでリタッチ(全頭20分)		
868		筆記テスト(カラー理論)15分 実技(根元3センチリタッチ)全頭20分		
869		ホイルワーク ホイルワークの構成と手拭レッスン		
870		グレイメイク 根元3センチ 全頭タイム分15		
871	ヘアカラー	ホイルワーク ウィッグで全頭30分 ホイル56枚以上		
872		座学 アドバンس 毛髪薬学、色彩学、造形学 総合		
873		ホイルワーク ウィッグで全頭30分 56枚以上		
874		ホイルワーク 全頭20分 56枚以上のクオリティーをあげる		
875		ホイルワーク 全頭20分 56枚以上精度を高める		
876		ホイルワーク レベル別にクラス分け、タイムファイナル 3分間でホイル6枚以上		
877		ホイルワーク レベル別にクラス分け、タイムライアル 3分間でホイル6枚以上		
878		ホイルワーク最終トレーニング 試験を想定した形でリッスン(全頭30分ホイル56枚以上)		
879		ホイルワーク試験 全頭30分ホイル56枚以上 座学 (アドバンス)		
880		バックジャンプーの手技と手順の説明		

881
882
883
884
885
886
887
888
889
890
891
892
893
894
895
896
897
898
899
900

シャンプー

タオル、クロスの付け方、道具のセッティング		
バッグシャンプー展示(ウィッグ)		
相モデルでエア－レッスン		
流しの手技と手順と確認		
流し相モデルでエア－レッスン		
流し相モデルでレッスン		
流し相モデルでタオルドライ、ターバンの仕方		
流し相モデルで感覚をディスプレイカッジョン		
シャンプー手技、手順の確認		
シャンプー相モデルでエア－レッスン		
シャンプー相モデルで泡立てからシャンプー		
シャンプー相モデルでシャンプーの流しまで		
シャンプー相モデルでシャンプーの流しまで		
トリートメント、蒸しタオル、マツサージの説明		
シャンプー相モデルでシャンプー～マツサージ流してターバンして上げる		
シャンプー相モデルでシャンプー～ターバンして上げる(タイム15分)		
相モデルでタイム15分(感覚をディスプレイカッジョン)		
相モデルで細かい手技の指導		
サイトシャンプーの手技と手順の説明		
サイトシャンプーの展示(ウィッグ)		